

総明会会報

1993

1994

1995

1996

1997

1998

1999

2000

2001

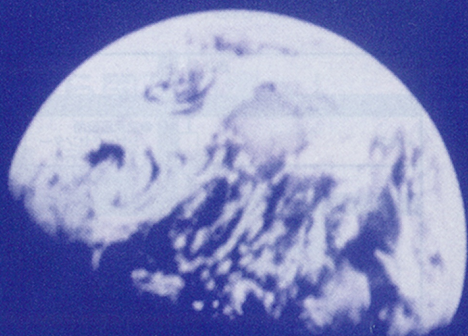
2002

2003

2004

2005

2006



Meiji

明治大学付属明治高等学校同窓会

総 明 会

昭和59年開催の第20回総会で命名された。
初代校長の鵜澤総明先生のお名前をいただき、かつ、明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。



目 次

	ページ
総明会総会・懇親会のご案内	1
会長あいさつ	2
校長あいさつ	4
平成12年度活動報告	6
新評議員紹介	7
平成12年度決算報告	8
ゴルフ大会報告	9
シニアクラブ	10
明高中の西調布移転	12
総明会評議員名簿・OB会名簿	18
明治中学・高校へのメッセージ	20
我が同期会・クラブOB会	21
櫻井正美先生御退任	42
班・部の活動状況	43
小田島先生を偲んで	60
明治中学・高校生 活躍の軌跡	62
寄付者一覧	63
次期幹事学年の抱負	64
幹事学年より感謝を込めて	64
足を運んでみませんか	64

総明会行事企画委員会

第37回総明会 講演会

日 時：2001年10月13日(土) 午後5時開演

場 所：東京ドームホテル 地下1階オロラ

テーマ

「明治高校から国政の場へ」



元公明党委員長
元国務大臣総務庁長官

石 田 幸四郎 氏
(昭和25年卒業)

略歴

昭和 5 年8月	札幌市に生まれる
昭和22年3月	明治中学校卒業
昭和25年3月	明治高校卒業
昭和29年3月	明治大学商学部卒業
昭和42年	衆議院議員初当選
昭和47年	衆議院選挙で返り咲く 以来平成12年引退まで 連続当選
平成 元 年	公明党中央執行委員長
平成 5 年	国務大臣総務庁長官
平成 6 年	新進党副党首
平成12年	公明党名誉顧問

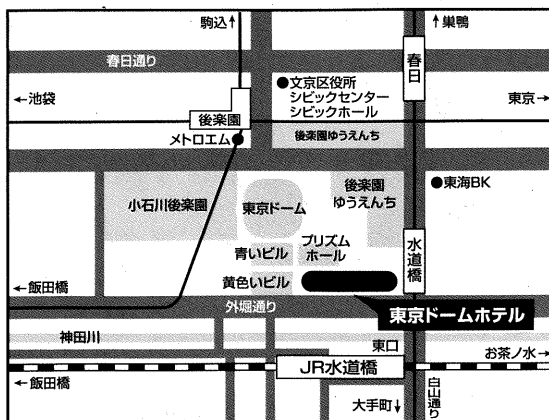
石田先輩は明治中学・明治高校を卒業後、長年衆議院議員として活躍された後、公明党委員長として日本の政界において大活躍をされました。また、国務大臣総務庁長官として内閣の重要閣僚の一員としての重責を担われ、我国の舵取りをされて来られました。

当日は、大先輩の明治中学・高校時代の思い出を含め政界の裏舞台を含めた大変興味深いお話が伺えるかと存じます。是非とも多数ご参集いただきたいと存じます。

会場案内

最寄の駅

JR中央線・総武線「水道橋駅」東口……徒歩2分
 都営地下鉄三田線「水道橋駅」………徒歩2分
 営団地下鉄丸ノ内線「後樂園駅」………徒歩5分
 営団地下鉄南北線「後樂園駅」………徒歩5分



会費

一般会員	10,000円
シニア会員 (34年卒より)	8,000円
現役学生	5,000円
同伴者	5,000円

*ご出席の方のみ、お手数ですが確認のため同封の返信ハガキに記入の上、投函して下さい。（誠に恐縮ですが、ハガキの内容を基に出席者の名札を作成しますので、楷書にてご記入下さい）

*返信ハガキで申し込まれなかった方も当日参加できますので是非ご参加下さい。

第37回総明会総会・懇親会の御案内

日 時：2001年10月13日(土曜日)

場 所：東京ドームホテル

総 会 午後4時より 地下1階オーロラ

講演会 午後5時より 地下1階オーロラ

懇親会 午後6時より 地下1階天空

今回の懇親会のテーマは

「21世紀を楽しく元気に羽ばたこう」です。

今年の会場は母校明治に近い、水道橋東京ドームホテルで開催いたします。総会、懇親会に参加する前に、昔を思い出しながら御茶ノ水あたりを散策しませんか。もちろん母校にもお寄りくだされば幸いです。懇親会は21世紀の幕開けの年にふさわしい、皆様と共に楽しく元気が出るような企画を考えています。明大クラブバンドによる演奏、明大チアリーダーの可憐な演技、最後に応援歌、校歌。是非、同期やご家族の方をお誘い合わせてご参加下さい。幹事学年(翼明会、49年卒)一同皆様のお越しを心よりお待ちしております。

21世紀の総明会

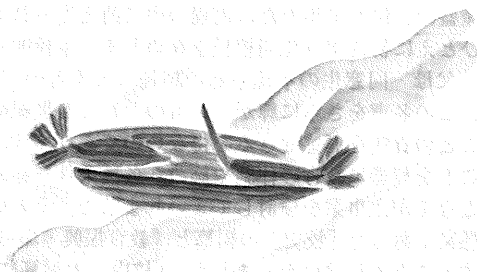
第37回総明会総会によせて

総明会会長 向 殿 政 男



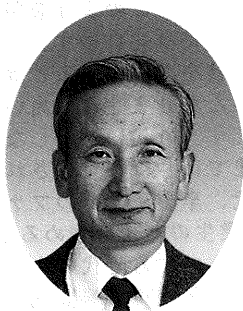
21世紀最初の総明会の総会と懇親会が、昭和49年卒業の同期会であります翼明会をホスト学年として、今年もまた賑やかに開催される運びとなりました。誠におめでたく、そして誠に有り難いことだと存じます。関係者のご努力に心から感謝すると共に、一人でも多くの卒業生の御参加を御待ち申し上げます。さて、我が国は現在、政治的にも、経済的にも激動の最中にあります。そして当然教育界にも改革の嵐が吹き荒れることになるはずで、現在、学校を取り巻く環境は、外からだけでなく、中からも激しい変化に見舞われつつあります。このような時、改めて同窓会の役割と意義を考え、21世紀に相応しい総明会の在り方について考えてみることは意味のあることと思います。「帰属意識が薄れ、他人と深く係り合う事を避け、人間関係が希薄になりつつある」というのが、現在の我が国における若者の一般的な傾向ではないでしょうか。同窓会活動を例に取れば、母校という意識が希薄になるだけでなく、先生

との絆が浅くなり、皆を集めて意義のあることを自分から積極的に買って出ようとする人物が少なくなり、同窓会に対して全体的に無関心な卒業生が多くなりつつある、と言えましょう。この点、総明会の纏まりは、他の高校・中学から驚異の目で見られています。多くの卒業生の献身的な総明会に対する貢献は、明高生の母校と仲間を思う情熱、積極的なボランティア精神の賜物です。明治中学・高校の校風と伝統です。しかし、これが何時までも続くと言う保証はありません。教育の原点は、現場にあります。教師と生徒、及び生徒同士の人間的触れ合い、それ以外にありません。知識や技能の習得よりは、人間教育です。母校を愛する心、友人を大事にする心、一肌脱いで同窓会活動を買って出ようとする心、皆ここが源泉です。それが現在の総明会の纏まりに結晶されているのです。このような明治中学・高校を慕った新しい生徒がまた母校を目指す。これが伝統を紡ぎ続けます。ただし、伝統を大事にするとは、形式的なことを保つことではもちろんありません。高い理念の下に時代とともに代わることです。時代に対応しない限り伝統は伝えられません。これまではさほど重視されてきませんでしたが、これからの時代、卒業生とそのファミリーを大事にして、母校の先生と卒業生の連帯を強めること、このことが薄い人間的触れ合いを志向する時代の中にあって最も必要なことと思います。今、母校の移転問題が持ち上がっています。これまでの良き伝統を継承することが、母校の存在そのものです。現場の教師の情熱と心意気、校舎を取り巻く文化的、地理的風土、在校生と父母と卒業生の意思、等々の役割を十分に考えて、時間を掛けて議論を尽くし、悔いのない決定をして欲しいと思います。教育は百年の計、社会を作り、国家を作ります。その中で同窓会活動は重要な役割を果たすはずだと信じています。



創立90周年記念 事業の創設

校長 ^{し みず とし お} 清水 紀夫



21世紀を迎え最初に行う大事が、創立90周年記念事業です。本校は明治45年(1912年)4月に創設されてから、2002年3月で90周年を迎えます。創立以来本校は、独立自治・質実剛健の校訓をもつ歴史と伝統ある私学の名門として、1万5千有余の幾多有為なる人材を育成、輩出し、大いに社会に貢献してまいりました。本校の今日の隆盛は、決して坦々たる道程の中に迎え得られたものではなく、ひとえに初代鶴澤総明校長を初めとする本校90年にわたる教職員・父母・同窓生の不撓不屈の精神によるものであります。我々は、この名声をさらに輝かしいものとして21世紀の世代に引き継ぐことの責任を痛感せざるを得ないのであります。90周年を迎えることを契機に教育の体制や施設、各種条件を顧みて、発展の基礎となる記念事業を検討してまいりました。その結果、かねてより懸案であった「校史」の編纂と「教育振興・環境整備基金」を創設することの結論に至りました。「校史」の編纂については、『60年の歩み』が出版されて以来、空白になっており、これを期に温故知新ということば通り、本校の90年にわたる営々たる歩みを

懇親会ご出席予定の来賓の方々

明治中・高校
校長 清水
教頭 川瀬
教頭 小西
教諭 安部

[illegible]

講
師

恩 師

中野 高 校 友 会 武 陵 会

会 長 高 橋 晴 樹 様

副 会 長 小 堤 次 男 様

副 会 長 松 尾 秀 一 様

常 務 理 事 津 田 敏 男 様

保樋櫻境後栗石雨
坂山井田藤原崎宮
吉正正啓朋圭章芳
彦士美一智介生久
様様様様様様様様

白駿会
副会長
幹事
会長
副会長
幹事
会長
計計計計事長長

相小吉米茂山	山村水松
川島持刃木浦	脇野落本
悦芳力詢昭茂晟	信圭八理
美子子子宏春暉	彦吾郎郎
様様様様様様	様様様様様様

P
T
A
役員

[illegible]

2000年度活動報告 専務理事 尾島 育四郎

総明会は今年創立37年を迎えます。この間OBの連帯を育て、母校との協力関係・賛助活動を維持推進する事を目的として活動してまいりました。向殿会長を中心に「10の委員会組織」が各委員長を中心に担当委員の方々により活発な議題を提出してもらいました。理事会で各提案を審議・報告して年度の企画・行事活動を推進してまいりました。まず名簿委員会における総明会活動に理解ある方々のリスト「アクティブリスト」の作成、運営委員会によるシニア部会・落語会の開催等、新しい事業・企画を展開する事により組織の活性化に務めてまいりました。大先輩の方々・若い会員の皆様が今後ますます総明会活動に参加頂く意識を確立するように活動してまいります。

☆**新入会員**は2001年3月10日の卒業式で新たに240名の新入会員を迎えました事を報告いたします。

☆**総会**は第36回を迎え、昭和48年卒同期会「波の会」の担当で、11月2日(木)東京マリオットホテル錦糸町東武に参加者350余名をみて大盛況の内に開催されました。総会において向殿会長による活動方針又新たに作成しましたアクティブリストの説明が行われました。講演会では、32年卒小林正三郎様による「高校球児からサッカーJリーグの経営へ」のテーマによる柏レイソル社長のスポーツ体験を通じて得た人間関係の講演が行われました。懇親会では、卒業学年毎のテーブルが用意され、色々なコーナーが企画されました。ご来賓のご挨拶を頂き、大抽選大会が開催され、吹奏楽班OBによる演奏に続き応援団による応援歌・校歌と続き、新旧いずれの会員からも人気を博し、好評裡に終了しました。

☆**評議員会** 各学年で構成する評議員会は今年度3回開催しました。6月に評議員・クラブOB会との懇親パーティを開きました。

☆**総明会機関紙「M」** 明治大学在学中の若い会員の皆さんの協力を得て、第8号「M」が12月終業式当日に発刊致しました。

長
吉
泉

学校法人
明治大学
理事長

栗
田
健

学校法人
明治大学
総長

山
田
雄
一

明治大学
長

学校・父兄の評価も高く、在校生と総明会を結ぶ役割を担っております。

☆**総明会ゴルフ大会** 第7回ゴルフ大会が本年5月13日(日)にグレンモアカントリーGCにおいて、100名余の参加を得て盛会裡に終わりました。

☆**中野高等学校校友会「武陵会」** 第36回総明会懇親会に高橋会長を始め副会長・常務理事が出席下さいました。昨年1月26日に相互の役員10名にて交流会を開催しました。昨年5月26日「武陵会」総会・懇親会に副会長・役員が出席を致しました。昨年6月14日に再び交流会を致しました。相互の交流も満7年を迎え、兄弟校として今後とも強い絆を結び連帯活動をしていきたいと思ひます。

☆**明治中学・高校行事への参加** 昨年4月6日入学式、10月中学・高校体育祭、11月文化祭・バザー、12月終業式に機関紙「M」発刊、2月新入会員のための説明会、本年3月10日卒業式に正副会長並びに役員が参加いたしました。

☆**新事務局紹介** 本年4月より北島一弘理事(S45年卒)が新たに事務局長に選出されました。今後総明会にご連絡・問い合わせ等がありましたら下記へご連絡下さい。

TEL 03-3881-6217 FAX 03-3879-6133

E-mail k2@kitajima-s.co.jp

新評議員紹介

本年も卒業学年より2名の新評議員及び3名の学級幹事が決定しましたのでご紹介いたします。今後、総明会を担う若手の一員として、必ずや活躍していただけることでしょう。

評議員／岡庭 朋威	学級幹事／橋本 俊
大橋 弘頌	藤野 圭介
	高橋 一

清水紀夫

明治高等学校校長
明治中学校校長

向殿政男

昭和三十六年卒業
総明会会長

〒一五八—〇〇八一
世田谷区深沢五—一八—二〇
TEL 〇三—三七〇—一六九一

山浦晟暉

昭和二十九年卒業
総明会副会長

〒一六七—〇〇四二
杉並区西荻北三—二八—一
TEL 〇三—三三九四—二三五五

総明会 2000年度 会計報告

(自)2000年4月1日～(至)2001年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	11,229,395	会議費	458,899
平成12年度会費	475,000	通信費	65,445
新入会員入会金	2,400,000	事務・印刷費	1,204,685
名簿売上金	16,000	公用費	662,675
「M」広告収入	480,000	活動費	955,986
東武トラベル	217,653	「M」活動費	480,000
総明会基金	4,540,000	雑費	62,340
雑収入	462,490	次年度繰越金	15,934,695
預金利息	4,087		
合 計	19,824,625	合 計	19,824,625

上記の通り報告致します。

2001年3月31日

会 長 向殿 政男

会 計 関谷 芳久

監査の結果相違ありません。

2001年3月31日

監 査 伊藤 茂雄 印

小林 正三郎 印

第36回 総明会 総会会報特別会計報告

2000年11月2日

収入の部		支出の部	
	実 績		実 績
総会会費収入	2,832,000	総会関係費	3,983,160
寄付広告料収入	4,155,000	会報関係費	2,516,814
その他収入	506,506	運営関係費	993,532
合 計	7,493,506	合 計	7,493,506

預金明細

2001年3月31日

普 通 預 金	三井住友銀行	# 6741677	5,582,398
	西新井支店		
特 別 基 金	三井住友銀行	# 6935895	7,393,852
	西新井支店		
現 金			276,225
東京貯蓄事務セ	# 東京		
ン タ ー	7-93825		2,682,220
合 計			15,934,695

総明会 2001年度 予算案

(自)2001年4月1日～(至)2002年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	15,934,695	会議費	400,000
平成13年度会費	450,000	通信費	100,000
新入会員入会金	2,300,000	事務・印刷費	1,200,000
名簿売上金	20,000	公用費	700,000
「M」広告収入	480,000	活動費	900,000
新入会員特別基金	2,300,000	「M」活動費	480,000
雑収入	400,000	次年度繰越金	18,104,695
合 計	21,884,695	合 計	21,884,695

第37回 総明会 総会会報特別予算案

収入の部		支出の部	
	実 績		実 績
総会会費収入	4,000,000	総会関係費	5,500,000
寄付広告料収入	4,000,000	会報関係費	2,500,000
その他収入	500,000	運営関係費	500,000
合 計	8,500,000	合 計	8,500,000

五月晴れにゴルフ!! 第7回チャリティゴルフ大会

第7回総明会チャリティゴルフ大会が、2001年5月13日(日)ザ・カントリークラブ グレンモアにて五月晴れの空の下で開催されました。汗ばむ程の好天下、村野元校長を始め、白駿会の方々・父兄会の役員の方々・現役の先生をお迎えし、百名程のコンペとなりました。



学年対抗優勝学年 S43卒

今回は個人戦・学年対抗戦の二つの部門での競技となりまして、結果は別表の通りでした。ザ・カントリークラブ グレンモアはかなり難コースだった様で、上手な方もそうでない方もそれぞれにコース攻略にてこずった模様でした。

☆昭和34年卒業の方々の大健闘

ここの処、昭和40年以降の卒業生の活躍が目立っていましたが、今回は団体戦において昭和34年卒業の方々が堂々の第二位に入賞されました。皆様の情熱に出場された方々全員が来年こそはと心に誓われた事でしょう。

☆チャリティを学校に寄贈

当ゴルフ大会の主旨でありますチャリティ募金がアウト4番・イン17番で行われ、パーオンするしないに拘わらず多くの方々にご協力頂き、その収益金は向殿会長より清水校長に手渡されました。清水校長より、今回のチャリティの収益金も生徒のリーダーシップ参加費用の一部として使われるとの報告がありました。

☆大会開催のお礼と今後

本大会開催に当り、尾島雄三郎氏始めゴルフ場関係者・その他多くの方々のご協力、幹事学年有志の方々のお手伝いに深く感謝致して居ります。今回で第7回を数えました総明会チャリティゴルフ大会ですが、総明会の一つのイベントとして今後益々充実したものにして行きたいと考えて居りますので次回も多くの方々の

昭和三二年卒業
総明会副会長

山崎敬生

〒二七二〇〇三三
市川市平田一八一八
TEL 〇四七三三六一六五〇

昭和四一年卒業
総明会専務理事

尾島育四郎

〒一五〇〇〇〇一
渋谷区神宮前五四一六
TEL 〇三三三四〇二九五

昭和四五年卒業
総明会事務局長

北島一弘

〒二一〇〇〇三三
足立区千住寿町三五二二
TEL 〇三三八八一六二七

個人成績

	卒業年	氏名	GROSS	NETT
優勝	44年	田島 実	74	69.2
準優勝	43年	中尾恵則	93	70.2
3 位	46年	斉藤公義	88	71.2

学年対抗の成績

	卒業年・氏名	総GROSS	総NETT
優勝	昭和43年	355	293.8
	中尾 恵 則	93	70.2
	小田嶋 保 男	78	72
	荻 誠 一	86	74
	榛葉 紀久雄	98	77.6
準優勝	昭和34年	400	296.8
	村嶋 大三郎	97	71.8
	鈴木 慶 一	100	74.8
	希代 章	111	75
	尾島 雄三郎	92	75.2
3 位	昭和44年	370	296.8
	田島 実	74	69.2
	福田 正知	95	75.8
	佐伯 正	101	75.8
	秋山 勝光	100	76

参加をお願い致します。尚、次回も同時期開催を予定して居り、案内状送付は原則としてこれまで参加されたことのある方々に致します。次回より初めて参加ご希望の方は下記にご一報下さい。

総明会ゴルフ委員会
委員長 阿部 正行
〒116-0003

荒川区南千住6-37-2-902
TEL 03-3891-7370
FAX 03-3837-4875



シニアの皆様へ 総明会シニアクラブのお知らせ

総明会では、総明会活動に功績のあった先輩を対象に、お礼の意味を込めました「シニアクラブ」を開催することになりました。第1回と致しまして、2000年10月14日(土)に御徒町駅前吉池7F「放心亭」におきまして、「落語会」と「懇親会」を開催致しましたところ、30名ほどのご参加をいただき、皆様に大変喜んでいただきました。今回は、第1回と言うことで、会員全員にご連絡することが出来ませんでした事をお詫び致します。と共に、第2回、第3回と継続し開催できますよう、ご協力、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。2000年10月14日午後4時、御徒町駅前吉池7F「放心亭」にお集まり頂いた明高OB30名は、立

レストランウエディングは
YMCAレストラン **オーケル**で
中 富 穎 隆
(昭和20年旧制中学卒)

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7
TEL 03-3292-7241 FAX 03-3295-4372



派な舞台付の50畳ほどの畳敷きの宴会場にビックリしているようでした。開演前の30分の間ウェルカムドリンクのビールで、懐かしい方々と談笑し、これから始

まる「落語会」に胸をふくらませて頂きました。4時30分、前座の遊一さんによる15分ほどの「寿限無」で始まりましたが、名前を戴いて3ヶ月しか経っていないにもかかわらず、さすがプロだと感心させられました。二つ目の菊若さんの噺も明高OBと知っての枕とお金絡む富くじの噺で、二つ目とは思えないしっかりした語り口で、いつのまにか話しのめりこんでいる自分にビックリしてしまいました。目の前で演じる生の迫力に圧倒されてしまい、あっという間の45分でした。5時30分から第二部の懇親会が小林顧問の乾杯で始まり、総明会の集まりには珍しい座敷での宴会で、食べ物もお酒もタッブリで座は大いに盛り上がり、次回も今回同様の企画で開催することを約束して、あっという間にお開きの7時になってしまいました。第1回ということで、準備不足(連絡の不徹底)ながら、参加して頂いた方には100%楽しんでもらえたと確信しています。次回も先輩方に楽しんでもらえるよう、又、参加してくださる先輩が増えますよう、幹事一同頑張りますので、次回からのご参加をよろしくお願いいたします。

幹事連絡先 運営委員会

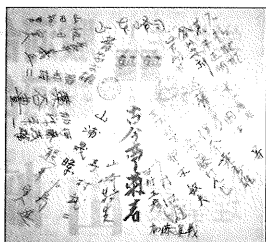
中村 正容(昭和43年卒)

昼/TEL 03-3663-4351

FAX 03-3664-9671 (株)中村

夜/TEL 047-362-2384

FAX 047-362-2384 (自宅)



祝 第37回総明会 四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

明高中の西調布移転

1. 昨年から本年6月までの経緯

2001年3月12日学校法人明治大学理事会は、2005年4月より中学1年から高校1年生まで(高校2、3年は現校舎に残留)を、2007年4月には全教職員、全生徒を西調布に移転する、と正式に決定した。この決定を大学の評議員会が承認すると西調布移転が正式に確定する。明高中の教職員は、直ちにこの理事会決定に対し、『中高一貫』『高校、大学との連携』を積極的に進めていくために、大学と近接した場所に明高中が立地している必要性があること」を骨子とする反対声明文(別掲)を出して、総明会とともに評議員会の理事会決定の承認を阻止する動きに出た。評議員による現校舎と移転先である西調布の施設の視察を行いながら、3月27日、5月8日、5月26日と3回に亘り明高中の移転に関する臨時評議員会が開催されたが、いずれも採決には至っていない(7月末日現在)。しかし、評議員の多数意見は西調布校地への移転賛成とみられており、今後の動きは全く予断をゆるさない状況にある。

2. 移転が具体化した経緯

昨年、一昨年の本会報に掲載した明高中移転に関する記事のとおり、明高中の移転は昭和40年代から取り沙汰されてきた。これまでに候補地として、読売ランド、明大生田、明大八幡山、千葉などが取り上げられ、旧日航グラウンド跡地である西調布が現在の候補地

学校法人 **駿河台大学** 総 長

学校法人 **駿河台学園** 学園長

理事長 **山 崎 春 之** (第27回卒)

大 学 埼 玉 県 飯 能 市 阿 須 6 9 8 ☎ 0429(72)1111
 学園本部 東京都千代田区神田駿河台2-5-17 ☎ 03(5259)3111

—— 21世紀の教育に躍進する駿台グループ ——

駿 河 台 大 学 駿 台 予 備 学 校 駿 台 外 語 綜 合 学 院
 駿河台大学第一幼稚園 駿台リンドenskूल 駿台トラベル&ホテル専門学校
 駿台甲府中学校 駿台個別教育センター 駿台法律経済専門学校
 駿台甲府高等学校 駿台電子情報専門学校 駿台観光&外語専門学校

となっている。特にここ数年、現校舎及び施設が在校生徒数など東京都学校設置基準を満たしていないとされていること、現校舎が築後40年近く経過して老朽化が進んでいることから、移転が具体化してきたという経緯がある。

3.西調布移転の問題点と今後

今回の理事会が移転決定した西調布は、次のような問題があり、それが教職員の反対の理由にもなっている。①現在校生の45%を占める千葉、埼玉、神奈川、都内の一部区域からの通学が困難となり、これが高い学習能力と意欲を持つ入学志望者、生徒の減少、ひいては生徒の質の低下、明大への推薦に影響が及ぶこと、②明大中野校及び明大中野八王子校と競合し、明大の付属校と系列校とが共倒れの恐れがあること、③西調布校地は、以前早稲田実業高校の移転候補地として検討され、見送られた経緯があり、この地を明高中の移転先とすることに強い違和感があること、④西調布校地は大学の体育会も使用する予定であり、明高中が敷地全部を利用できないこと、である。また別稿のとおり西調布校地は年間23,000便の離発着がある調布飛行場の東側にあるだけでなく、校地上がヘリコプターの航路となっているため、その騒音が授業に影響を及ぼすことは避けられない。他方、現校舎及び施設は前記のとおりの問題を抱えており、明高中としては早急な結論が要求されているだけにその対応に苦慮している。 会報委員会 43年卒 佐久間 洋一

「明高中の西調布移転」に反対する声明文

明治高等学校・中学校職員会議は、2001年3月12日、明高中の西調布校地への移転について、総意をもって反対の意思を表明した。1999年3月に提出された明治高等学校・中学校教育環境改善計画検討委員会の答申は、「明高中の西調布移転」問題についてハード面から検討を行っており、面積の広い西調布校地の方が充実した教育が行えることが指摘されている。しかし、続いて行われるべきソフト面からの検討は、明治高等学校・中学校環境改善委員会が行うことになっているが、現在、委員会としての結論が得られていないどころか、具体的な検討すら始まっていない。このように、「明高中の西調布移転」問題について、理事会が設置した委員会ですら結論が得られていないのにも関わらず、移転を強行しようとする理事会の姿勢は、明高中の教育について真剣に考えているとは到底認められない。一方理事会は1999年4月に明高中職員会議において、西調布校地取得の経緯に関し、「大学施設用地として取得」と説明したが、その後「明高中の西調布移転」問題について教職員の意見を聞く機会を全く持たず、説明すら行っていない。「明高中の西調布移転」問題は、純粋に教育の問題としてとらえるべきである。理事会は、直ちに「明高中の西調布移転」の決定を撤回し、明高中のこれからの教育のありかたについて検討を開始することを強く要求する。

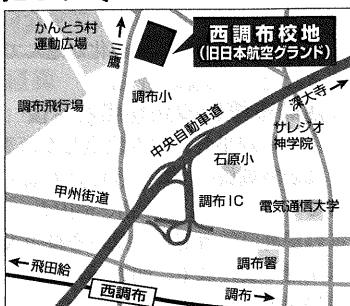
2001年3月19日

明治大学付属 明治高等学校・中学校職員会議

■ 移転先の西調布校地について

1.立地

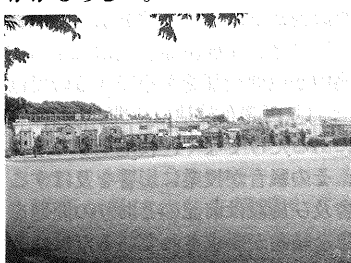
西調布校地は、新宿駅から京王線の特急で15分、急行で20分の調布駅で各停に乗り換えて約2分の西調布駅から徒歩約15分のところにある(別掲地図)。JR中央線の武蔵境あるいは三鷹駅からバスで十数分かけても通学できるが、朝夕のラッシュ時は30分近くかかるらしい。



西調布駅から西調布校地(旧日本航空グランド)

2.規模

面積は約15,000坪。明大八幡山グラウンドの半分であるが、現在の明高が2,200坪であるからその約7倍。調布市つつじが丘の明高中のグラウンドと明大野球場とを合わせた面積の約2倍の広さである。



西調布校地(旧日本航空グランド)

校地の外周は徒歩で優に20分はかかる。この校地は旧日航のグラウンドの跡地であり、1997年明大が購入した。校地内には、野球場とサッカー場を兼ねた全面芝の張ってあるグラウンド1つ、硬式テニスコート8面、軟式テニスコート6面、テラスハウス1棟、ゴーカートの跡地や滑り台など遊戯施設、プールなどがあり、現在明大の体育会や教職員に利用されている。校地は調布飛行場に隣接しているため、建物の高さに制約があり、3階建以下の建物しか建てられない。

3.環境

京王線西調布の駅から中央道までは「西調布駅通り商店街」になっている。商店街は3階建の建物が少しある程度で、殆どが2階建の木造建物。中央道から西調布校地までは、校地周辺の住宅地を除くと浄水場や更地、農地が続き、1960年代初め頃の現

昭和49年卒

坂政合板株式会社
マーカム株式会社

代表取締役 **坂上真啓**

〒424-0045 清水市東大曲町8-36

TEL 0543-66-1155



西調布駅通り商店街

明高中周辺にタイムスリップした雰囲気であるが、校地に向かって左側に新設されたJリーグのサッカー場である東京スタジアムが今日的である。1日数便ある飛行機の離着発音やヘリコプターの音が多少気になるものの、まあまあの環境といえる。

会報委員会 43年卒 佐久間 洋一

■ 座談会 〈明中高の移転問題〉

司： 以前から、うわさされ総明会会報でも過去2回報告されている明中高の移転問題について、今回はOBである皆様のご意見をお聞かせ下さい。

A： 学校法人明治大学の経営については、良くわかりませんが、心情としてみればお茶の水にあってこそ、校歌を声高く歌う事ができるんですよ。たぶんほとんどのOBは納得できないと思います。

B： しかも、来年の創立90周年の式典の席で、移転決定の報告をする事になってしまうのであればOBとして一抹の寂しさを感じざるをえないね。

C： 都市型の明治大学を目指したのなら何故、付属中高を近郊型にするのか理解できないなあ。

D： 大学ではリパティタワーに続き2次3次の計画があり、生田校舎の整備をすると聞きますが、その犠牲というのは言い過ぎかもしれないですが、経営的な措置だとしたら、怒りすら感じますね。

E： でも大学あつての付属校なのだから、大学の施設が充実して大学の評価が良くなれば、結果的に付属のレベルアップにつながるのではないですか。

D： Eさん、それは違うと思うよ。明治高校は歴史のある学校で多くの卒業生の師弟が在籍し、それが伝統になっていると思うんだ。全国ネットの明治大学とは異

祝 第三七回総明会 美術演劇部OB会

会長

竹澤

啓

(昭和四九年卒)

副会長

桜井 慎吾

(昭和四九年卒)

石川 雅人

(昭和五十年卒)

窪寺 弘匡

(昭和五十年卒)

高倉 宏昌

(昭和五二年卒)

會計

小谷 和己

(昭和五二年卒)

増田 和久

(昭和五二年卒)

福島 俊哉

(昭和五二年卒)

伊藤 雅巳

(昭和五五年卒)

小林 功治

(昭和五六年卒)

鈴木 望文

(昭和五六年卒)

なり、東京東部・埼玉・千葉の生徒が多くをしめている、いわば地域密着型の学校だと思うんだ。大学の評価が上がったにしても、高校・中学のレベルは逆に下がると思うよ。

A : 私もそう思います。もし調布に移転したなら、気質も変わり、質実剛健のイメージとは程遠くなってしまう気がするね。

F : それもそうだけど、学力の低下も気になるね。他の付属校が移転をとまなうと共学化して、はどめをかけようとしているけど果たして効果があるのかな。うわさだけれども国分寺に移転した早実中は、2月1日の他に3日に二次試験を実施しようとしているらしい。

G : 3日だと明中の入試と同じではないか。一層競争が激しくなり、明中の偏差値が下がるのは想像できるね。

C : しかも、移転予定地は、早実が移転候補地として、やめた場所でもあるから因縁を感じるね。

H : 場所的にも、明大中野・明中八王子と共に東京都の西に集中するのは生徒を募集するのに問題が多いのではないですか。

D : 当然、近隣の私学や、兄弟校との間にコンセンサスが必要になってくると思うよ。

A : 何かにつけて、メリットがないじゃないですか。

I : でも、猿樂町の校舎は老朽化しているのだから、一挙に新築の、しかも最近の設備をそなえた建築であれば長い目で考えると、その方がメリットがあると思うよ。

A : そうだな。校庭も広く、野球部の練習もつつじヶ丘に行かなくてよくなれば、野球部の復活も期待できるね。

H : スポーツが盛んになるのは良い事だけど少子化をむかえて、果してスポーツ有名校でのメリットがなくなっているのではないですか。



NIIPPONKASEI
INSURANCE CO., LTD.

日本興亜損害保険株式会社
明高同窓一同

●サンシャイン保険

三浦 昭生 (昭和三十八年卒)

●南雄社

尾崎 幸平 (昭和四十八年卒)

●竹澤保険事務所

竹澤 啓 (昭和四十九年卒)

●中部業務部

富山 幸司 (昭和四十年卒)

●北海道業務部

齊藤 薫 (昭和四十七年卒)

●愛知東支社

中沢 直美 (昭和五十年卒)

●東富四部

横山 正行 (昭和五十年卒)

●日本興亜生命

久永 隆博 (昭和五十四年卒)

●愛媛支社

清水 義仁 (昭和五十四年卒)

●情報システム部

小島 忠昭 (昭和五十七年卒)

●横浜支店

君島 康之 (昭和六十年卒)

●埼玉西支店

岡田 正浩 (昭和六三年卒)

●岐阜支店

山口 強一郎 (昭和六三年卒)

●栃木支社

湯村 洋史 (昭和六三年卒)

●本店五部

菊田 政寛 (平成二卒年)

●埼玉西支店

塚本 圭介 (平成六卒年)

- C :** そうだな。少子化の時代に、交通の不便な学校を目指す受験生は確実に減ると思うよ。やはり明中高は、お茶の水に存在する事が大きいはずだ。
- B :** 5月に行われた総明会ゴルフコンペ表彰式での清水校長は、明中高90周年の校史編纂事業を行っている旨を説明されながら、この移転の話題を感慨深そうに語られていました。その中で、明中高のほとんどの教職員は移転に反対であり、その立場を明大に表明する事で一致したとのことでした。
- F :** 総明会の公式行事で校長が表明されたという事は、私達OBにとっても非常に重要な事かと思います。
- H :** 私達OBが重く受け止める必要がありますね。ならば、総明会が行動をおこして明大に働きかけてはいかがでしょうか。
- D :** それはまずいでしょう。総明会は圧力団体ではないのですから。それよりもこの問題をOBの方々に認知していただいて、より良いアドバイスなり知恵をいただく方が得策だと思います。
- 司 :** 5月の大学評議員会では結論を持ち越し、今年の決定はなさそうだと報告もありますが、会報でこの問題を取り上げ、広くOBの方々に知っていただき、ご意見を聞かせていただく方向に進めさせていただこうと思います。本日はお忙しい所、ありがとうございました。

主催・会報委員会

祝 総明会第37回総会 明水会

明治中学・高等学校水泳部OB会
会長 西塚 邦雄
(昭和33年卒)



新世紀、新しい人生へチャレンジ!
インシュアランス・アドバイザー
(プロ代理店研修生募集)

日本興亜損害保険株式会社 東京営業第一部
〒104-8425 東京都中央区築地3-5-4 中川築地ビル6階
TEL 03-5565-8350

総明会評議員名簿

卒年	同窓会名称	氏名	電話	氏名	電話
8	昭 8 会	市川康夫	0422-52-2771	宗像健一郎	0428-76-1275
9		坂本朝一	044-988-9366	平田満也	03-3851-2450
10		森田仁七郎	0466-34-2142	野元己喜男	0423-65-0511
11		板垣忠吉	03-3202-9667		
12	明中21会	中富光國	03-3400-6281		
13	二二会	館野春男	03-3471-5596	林俊雄	0425-77-4858
15	明中26会	奥野博司	0466-24-9823	三笠光人	0422-43-4774
17	明中17会	伊奈葉秀雄	03-3891-3537	安藤賢司	03-3804-8532
18		落合博	03-3645-2805		
19	明中二八会	土居養二	03-3942-1860	鈴木昌英	03-3821-5913
20		渡辺悗	0489-31-4289		
21	午巳の会	斉藤久也	03-3750-5691		
22	午巳の会	菅敏夫	03-3471-3007		
24	明高1期会	石崎貞博	03-3269-8639		
25	明二会	小田川玉城	03-3200-2261	高橋信雄	03-3291-2557
26	猿楽会	寺村武二	03-3813-6686		
27	明高会	渡邊幹夫	047-353-3963	米山耕右	03-3251-8268
28	明窓会	戸田一郎	0423-84-5740		
29	2 9 会	矢島偉行	03-3291-2384	山本峰司	03-3260-1669
30		石田彰之	03-3836-5034	大場隆之	047-453-2973
31	明楽会	高具鉄夫	03-3724-8357	土田饒	03-3664-0810
32	明治会	小林正三郎	03-3751-6462	山崎敬生	047-326-1650
33	三三会	鈴木寿雄	048-444-7768	藤田義茂	03-3811-5458
34	旧雨会	加藤佳一	0424-62-4585	磯時男	0489-31-8465
35	珊瑚会	野田繁	0422-53-3545	倉林貞夫	03-3953-5851
36	明駿会	加藤眞義	03-3894-6331	谷正之	03-3425-9512
37	3 7 会	石井嘉一郎	03-3622-3283	高村光昭	03-3844-0563
38	二年に一会	三浦昭生	03-3971-6332	高橋正侑	03-3313-3287
39	三九会	堺健一	03-3641-0319	佐藤仁	03-3790-3655
40	明優会	米山廣昭	047-391-5036	阿部正行	03-3891-7370
41	4 1 明友会	小川秀次	03-3633-4475	菊本哲也	03-3631-1076
42	M 4 1	結城康郎	03-3322-9988		
43	紫讃会	志村一夫	045-892-7684	小田島保男	03-3889-5493
44	男坂倶楽部	寺田康夫	045-502-7189	藁谷豊	042-922-4999
45	獅子の会	吉田耕太郎	043-296-1477	山形英明	047-353-7136
46	明潮会	金子敏一	03-3641-7224	木村茂	03-3642-8228
47	四七四七同志酔会	廣野宏士	03-3761-4184	内田茂	03-3775-4836
48	波の会	名倉豊	047-342-7236	海老根一介	03-5331-8188
49	翼明会	竹澤啓	03-3675-9955	谷田文夫	03-3473-1518
50	明紫会	山崎秀樹	0476-46-8115	町田純一	042-340-0502
51	明々会	小林祥吾	045-242-7188	前田稲一郎	03-3875-3795
52	明治ブリアントクラブ	大西静士郎	03-3425-9603		
53		井口幸洋	0460-7-2648		
54	明誠会	水上泰良	048-476-7339	熊澤正幸	03-3714-7871

※評議員のいない学年は掲載しておりません。

明駿会

昭和36年卒

会長 加藤眞義

副会長 谷正之

OB会名簿

(平成13年8月1日現在)

卒年	同窓会名称	氏名	電話	氏名	電話
55		大迫好孝	0489-35-7372	渡辺裕之	03-3644-3578
56		出間俊昭	042-592-7745		
57		見山義幸	03-3680-9506		
59		北川愛二郎	0473-87-2051	二村実成	0471-66-1794
61		森雄一郎	0888-50-0286		
63		光岡孝之	044-954-7979	米持貴史	03-3874-3408
H2		鈴木弘和	03-3718-8894	森正樹	048-769-0776
3	明仁会	山口一郎	03-3872-3037	斉藤直宏	045-521-5472
4		小畑啓	03-3558-3420	福田浩茂	03-3936-0401
5		長野吉克	06-6612-2010	安藤高利	03-3711-2126
6		河村健一	03-3645-0058	新村哲哉	047-333-3901
7		石田頼央	03-3688-1224	金子敦史	03-3417-9760
8		青木大樹	03-3622-6883	三村具永	048-874-8875
9		小谷健志	03-3996-7217	香川満洋	03-3684-2465
10		秋山光億	03-3613-4499	平田健	03-5699-5093
11		石川一仁	044-553-4664	戸邊寛	03-3625-4043
12		玉木万里男	047-338-1480	保科大輔	0468-65-3671
13		岡庭朋威	03-3834-0354	大橋弘頌	03-3866-8418

設立当時名称	OB会名称	担当者名(卒年)	電話
生徒会	生徒会本部OB会	長谷川 裕 (S43)	03-5615-4395
応援指導班	応援指導班(応援団)OB会	開発 武志 (S56)	03-3890-5188
新聞班	新聞班OB会	西山 光彦 (S39)	0297-22-2011
放送班	放送班OB有志会(田村会)	吉田 雅博 (S54)	048-281-0535
図書班	図書班OB会	平田 幸彦 (S45)	03-3807-5121
吹奏楽班	吹奏楽班OB会	内川 信也 (S46)	03-3903-3176
剣道部	見心会	矢光 善美 (S39)	03-3268-7617
柔道部	明高柔道部OB会	小川 洋一 (S38)	03-3634-3733
水泳部	明水会	土屋 隆昭 (S42)	03-3740-1587
籠球部	バスケットボール部OB会	年田 善政 (S62)	03-3631-5925
庭球部	明高庭球部OB会	鈴木 信夫 (S47)	03-3880-4116
陸上競技部	陸上競技部OB会	櫻井 勝也 (H7)	03-3652-8580
高校硬式野球部	明球会	山本 晃裕 (S29)	03-3255-8722
排球部	明治中・高校バレー部OB会	服部 雄二 (S44)	0473-52-8955
卓球部	明卓会(卓球部OB会)	山崎 泰夫 (S42)	03-3803-2514
スキー部	明雪会	五十嵐 公一 (S54)	03-3311-8129
フェンシング愛好会	フェンシング部OB会	伊藤 秀文 (S42)	03-3851-2564
アイスホッケー愛好会	明氷会	武藤 仁 (S35)	0474-22-6754
歴史研究部	歴史研究部OB会	歴史研究部事務局宛	03-3591-7038
地理研究部	地理研究部	松浦 毅 (H3)	03-3325-2320
化学部	明朋会	森 八一 (S46)	03-3622-0006
物理部	明物会	寺澤 信一 (S47)	03-3831-0618
音楽部	マンドリンクラブOB会	佐伯 亮 (S31)	03-3382-2021
J R C	JRC OB会	横谷 昌明 (S37)	03-3863-2300
囲碁愛好会	囲碁部OB会	田島 弘資 (S52)	03-3679-2632
サッカー部	サッカー部OB会	近藤 歩 (H11)	048-794-0068

今までになかった
天然素材の毛球コントロール

特許申請中

総合栄養食

繊維物語

CAT FOOD

よく食べる

株式会社 ニチドウ

〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩4丁目37番9号

「繊維物語」は、愛猫の毛球を考えてつくりました。猫はグルーミング(身体を舐める行為)が大好きな動物ですが、このグルーミングによって体毛と一緒に飲み込んでしまいます。この体毛は猫の口から胃や腸の中に入り、段々と毛球になっていきます。毛球が大きくなると、猫は吐いて排出しようとし、排出しきれない場合は食物繊維と耐熱性タンパク質分解酵素の働きにより、体内の体毛の排出を助けてくれるフードです。

全猫用

●シニアライト ●300g×2袋
●アダルト ●400g

2期期 吉田信行 二十八期卒 吉田隆一
三期卒 増田利明 三十三期卒 石田義信
四期卒 桜井克幸 三十七期卒 三好泰朗
五期卒 豊福 浩 三十三期卒 三好泰朗
六期卒 益子莊平 三十七期卒 鶴谷耕史

明治大学 少林寺拳法部

明治中学・高校へのメッセージ 石川 忠雄先生

文化勲章受賞
おめでとう
ございます。



お生まれ

大正11年1月21日 (東京市神田区一ツ橋)

略 歴

昭和9年4月 旧制明治中学入学

昭和11年4月 慶応義塾へ転校

昭和21年9月 慶応義塾 経済学部卒業

慶応義塾 法学部助手

昭和30年4月 慶応義塾 法学部教授

昭和52年5月 慶応義塾

塾長・理事長・大学長就任

昭和62年9月 大学審議会会長就任

平成3年 文化功労者

平成12年11月 文化勲章受賞

石川先生へのインタビューは、1時間弱の非常に短い時間でしたが、先生からは以下のような非常に示唆に富むお話をいただきました。

①明治中学は、歴史の古い良い学校でした。英語の野木先生には大変良い教えを受け、数学の先生にも目を見張られる授業を受けました。

②慶応ボーイと明中高生

慶応は、「自由」という表現がピッタリな学校であり、明中高は、「規律」の下にまとまっている学校でした。「自由」といっても、慶応にも規律があり、自由>規律という関係であり、野放図な自由ではありません。明中高は、何事も「一体になって、事を行う」という学校だったと認識しています。

③現在の学校教育

学校教育は人間教育ですが、今の教育は、個性を尊重しすぎと考えています。個性を尊重することと自由にやらせるということは異なります。今は、自由がありすぎるといえ、必要なのは、先ほどの慶応と明治の比較のように、自由と規律のバランスを考えることだと思います。

中華ファミリーレストラン



CHINESE CASUAL RESTAURANT
孫悟空

細田店 葛飾区細田1-15-6
TEL 03-3650-0059

行徳店 市川市入船1-27
TEL 047-399-0059

新 村 秀 男 (昭和42年卒)

④明中高の教育について

何のための一貫教育かを学校は問い直す必要があると思います。一貫教育には、生徒の好きなことを好きなだけやらせられるという特色があります。何でもできるという生徒はいらないと思います。生徒が一生懸命できることを、先生がいかに導き出し、伸ばしていけるかを考える必要があります。人間、1つのことを追求すると、必然的に嫌なこと・他の関心が薄いこともやらざるを得なくなります。私も、数学と英語が好きでしたが、英語が好きになったことが、後々の中国研究の礎になっており、英語が好きであったためにアメリカ留学が気持ちの中で受け入れられたと考えています。明中高の生徒には、「細かなことを気にせず、一生懸命にできることを見つけて欲しい。」とおもいますし、「先生は生徒に、何を興味を持たせられるか」が仕事であると考えています。

我が同期会・クラブOB会

母校を巣だって何年過ぎたか…。在校中の同期の集まりである同期会が総明会の横の糸であれば、先輩・後輩関係で結ばれたクラブOB会は縦の糸でしょう。会報には、総明会会員間の情報交換の場として、また、情報の発信源としての役割があると思います。今回は、同期会・クラブOB会の様子について原稿をいただきました。

昭8会(昭和8年卒)

同期会は平成9年11月11日に有楽町の初藤で会合を持って以来開かれていません。それまでは宗像健一郎君のお骨折りで殆んど毎年開かれていましたが、次第に出席者の数も少なくなってきました。今は年齢も85、86才となり健康其の他の事情で集まるのは無理かとも思っています。宗像君も青梅のご自宅でご健在ですが足の具合がお悪いとのこと。同期の皆様ともお会いする機会が少いと思いますがお互いに今後共益々元気に頑張りましょう。

市川 康夫 TEL 0422-52-2771

明卓OB会
(明高卓球部OB会)
名誉会長

相談役
宇田川 雄弘 (昭和三十年卒)

西村 昭 (昭和三十年卒)

井澤 勝彦 (昭和三十二年卒)

小島 孝明 (昭和三十四年卒)

倉島 孝夫 (昭和三十七年卒)

会長
高橋 正侑 (昭和三十八年卒)

副会長
佐藤 信征 (昭和三十九年卒)

幹事長
山崎 泰夫 (昭和四十二年卒)

事務局
小川 武志 (昭和四十七年卒)

會計
遠藤 裕司 (昭和四十七年卒)

佐藤 明弘 (昭和五十五年卒)

(昭和11年卒)

既に八十路を越えた今、遠く学園時代を偲ぶ思いしきりですが、いまやなつかしく語り合える同期会もなく、いつしかおこがましく学年代表の評議員なるものにさせられた私ですが、日頃不勉強で申し訳なく思っています。幸い毎年申し送り幹事学年主催の総明会総会がもたれて居ります。この機会に出席いただき、いっとき若がえってお互いの健在を確かめ合うのも意義あるものと存じます。同期諸君の賛同いただければ幸いです。私事ですが上下兄弟5人が明中にごやっかいになり未だ健在の実弟2人はそれぞれ同期会をもちその活動ぶりを聞くにつけ羨ましく且つ同期会をもたぬ私の責任を感じて居ります。

板垣 忠吉 TEL 03-3202-9667

22会(昭和13年卒)

昭和13年卒22会記録(80才記念) 昨年平成12年11月5日、久し振りに「22会」の同期会を開催した。本城君の提唱で急の呼び掛けのため、参加者が限定され僅か4名の会となったが、夫々の久闊を叙し、健勝を祝した。

場 所／赤坂全日空ホテル

時 間／17時より21時

参加者氏名／中村 充也 元中村興業(株)社長 山形市

本城 敏行 元日銀京都支店長 横浜市

竹内 誠一 元高校教師 横浜市

館野 春男 木菱合成工業(株)社長 品川区

連 絡 先／館野 春男 〒140-0004 品川区南品川1-2-29

TEL 03-3471-5596

明中26会(昭和15年卒)

同期会現状

名 称／昭和15年＝皇紀2600年

総 会／年1回 4月26日 参加者17名

会 場／築地 宮川本廬

旅 行／年1回 昨年は東北2泊3日 参加者9名

代表幹事／千田 義彦 TEL 03-3338-6989

昭和44年卒

男 坂 ク ラ ブ

代 表 福 田 正 知

副代表 富 川 雅 人

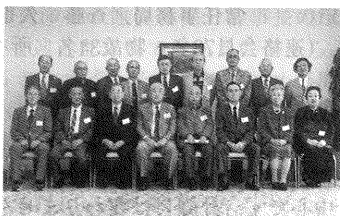
事務局 田 嶋 幸 一

評議員／(正) 奥野 博司 TEL 0466-24-9823

(副) 三笠 光人 TEL 0422-43-4774

明中一七会(昭和17年卒)

昭和17年に卒業したので、明中一七会と称しています。我々同期は年に1回気候の良い10月に同期会を開催しています。昨年は10月22日に京王プラザホテルで開催しました。御夫人も同伴で出席していただきました。



明中一七会

一七会事務局／伊奈葉 秀雄 TEL 03-3891-3537

午巳の会(昭和21・22年卒)

我々の同期会は、戦後の混乱期の制度改革で昭和21・22年と卒業年次が跨っている。継続的に行われてきた新年懇親会は、定例会場で開催する事が決まって3年、21世紀の幕開けは、折からの降雪(正月27日)に見舞われ19名のみでの開催となったが、新宿文化ビル内の会場で写真の様に行われた。本年の大きな催事は、有志による恩師遠山教円先生没後50年の「忍ぶ会」が予定されていることである。当時の母校には、誠に多才(彩)な先生方が教壇に立たれ、ユニークな教えを頂いた。恩師も日本画壇の逸材として注目されたが、その作品は梅野記念絵画館(長野県北御牧村)他などに残された数点のみとお聞きする。



午巳の会

祝 第37回総明会総会

明治大学附属明治高等学校応援団OB会

会長 小田川 玉城(昭和25年卒)

<同期会趣旨>
青春時代の「匂い」を身に纏い利害なく語り集う会。
構成 同期会代表／小林 昭雄
世 話 人／高橋 和幸
常任事務局／齊藤 久也 (TEL 03-3750-5691)
(連絡会員73名・物故34名・所在不明28名)

明二会 (昭和25年卒)
私達は昭和25年、新制明治高校を卒業した者を中心にした同期の会「明二会」の者です。明治高校となって2回目の卒業生が中心です。評議員は変わりません。今年は4月12日に飯田橋駅近くの「トリノ」と言う所で30数名が集まりました。
会長／高橋 信雄 TEL 03-3291-2557

猿楽会 (昭和26年卒)
同期会を開催の件ですが、今年は是非開催したく思っております。前회가3年前となりますので6月22日の評議員・クラブOB会に三役が集まって、正式に決定をするように連絡を取りました。
寺村 武二 TEL 03-3813-6686

明高会 (昭和27年卒)
昭和27年卒の明高会の皆様には、お変わりなくお過ごしのことと思います。毎日悠々となさっている方、未だに現役で頑張っている方もおります。健康の話でも結構です。くすりの飲み方でも結構です。ぜひ10月13日(土)の同窓会総明会に東京ドームホテルでお会い致しましょう。尚、同期会の連絡係として、渡辺幹夫君がお手伝い頂けることとなりました。同期会にとって心強い限りです。同期会はここのところ、開催予定がございませんので、重ねてドームホテル10月13日を予定して頂ければ幸いです。
連絡係／米山 耕右 〒101-0047 千代田区内神田2-3-2
TEL 03-3251-8268

明物会									
名譽顧問									
相談役									
会長									
副会長									
会計・幹事長									
副幹事長									
上野 雅宏 (昭和五一年卒)	市東 康男 (昭和四七年卒)	西沢 渡 (昭和五二年卒)	井家上 哲史 (昭和五一年卒)	尾崎 幸平 (昭和四八年卒)	寺沢 信一 (昭和四七年卒)	磯部 進 (昭和四五年卒)	北島 弘 (昭和四五年卒)	尾崎 哲 (昭和四四年卒)	金井 照治 久

明楽会(昭和31年卒)

昭和31年卒業の「明楽会」は、かつては不定期的に同期会を開催していたが、ここ数年はほぼ毎年開催するようになっており、毎回40名ないし50名の参加がある。毎年開催となったのは、参加者の希望もあるが、会場の交渉その他佐藤健一幹事長の尽力によるところが大きい。定年を迎えた年齢でもあることから、第二の人生を歩み出したという者も多く、そのため、初めて同期会に顔を出したという者もあって数十年ぶりの再会があったり、新たに幹事役に加わる者もあって、変化があって楽しい。本年は、10月20日(土)に新宿・住友ビル51階「シャーウッド」での開催を予定しており、更に多くの方々の参加を待っている。

高具 鉄夫

連絡先・幹事長／佐藤 健一 TEL 03-3761-1589

三三会(昭和33年卒)

還暦も過ぎ、年金生活者もいる我々三三会会員も、年1回の宴会と、春・秋のゴルフ会で、昔の中学・高校のガキ時代に戻り、親交を暖めている。これからも、総明会総会や、三三会で旧友と楽しい会話と酒を飲みたいものだ。ぜひ、出席される事を願っている。

鈴木 寿雄 TEL 048-444-7768

旧雨会(昭和34年卒)

同期会は毎年1回。他にゴルフ会を定期的に1回行っている。同期会は毎年50～60名位が参加。わいわい、ガヤガヤ、なつかしい思い出に花が咲く。ゴルフ会も毎回8組から10組と盛会。恩師にも参加願って楽しくやっている。還暦を過ぎたのであるが、会えば「俺、お前」でなつかしい。今年の同期会は6月16日。於、東京ドームホテル。「お先に…。」

加藤 佳一 TEL 0424-62-4585

明駿会(昭和36年卒)

「明駿会残影」太公望呂尚の寸分の気概を胸に、紊乱した20世紀を快刀乱麻とはいかないまでも、猪突猛進してきた我が精鋭達も、還暦を目前にして老耄激しい脳味噌を奮い立たせる時が来た。まだ

明高硬式野球部OB会														明球会
顧問														別府隆彦
相談役														卯木敏夫
会長														山本晃裕
副会長														小林正三郎
監査														宮沢政信
幹事長														高橋郁夫
副幹事長														榊原光一
會計														小林立春
														浮貝文夫
														伊藤宏
														原宏孝
														桑崎安弘
														森田和勉
														加藤和人
														大山輝芳
広報														須藤武雄
														熊倉章夫
														郡見浩
														世古之志
														出問俊昭
														上原桂樹
														相良明
(硬式野球部)														(昭和四年卒)
監督														真利直人
部長														扶川雅俊
														田村孝廣

まだ低迷する21世紀、何を目指して生きていったらよいか、課題。しかし、我が明駿会には二人の傑人がいる。著名な山岳写真家のクライマー椎橋と人口に膾炙している平成の万葉歌人の頼鳴春である。四季折々、北アルプス、南アルプス、そして八ヶ岳等の花に誘われて山々



明駿会

を歩き回り、余暇をみつけて各地の先人達を偲んで、頼鳴春師の歴史和歌を学んでいる。これこそ明駿会の男の生きざま、世を生き抜く活力剤である。高山のハクサンフウロ、シナノキンバイ、ウサギギク、シナノキンボウゲ等の百花繚乱に心が洗われる。頼鳴春の歴史秀歌には頭が洗われる。

◎介山が侵りし奥山白骨の湯 落下紅葉も無明幽玄

天地悠久の中、これからも浮草のように生きていきたい。

明駿会 広報担当／山田 和男

代表幹事(評議員)／加藤 真義 TEL 03-3894-6331

二年に一会(昭和38年卒)

私たち「二年に一会」は、昭和35年3月明中を、昭和38年3月明高を卒業した者と、1日でも同学年生として過ごした者の同期会です。名称の通り昭和39年を第1回として、2年ごとに開催してきました。今年は裏の年で同期会はお休み、来年20回記念の会を開催いたしますのでご出席を。私たちも後数年で、還暦を迎えます。何時もお話していますよう、同期の仲間は、減ることはあっても増えることはありません。皆で集まれる機会を増やしたり、変化のある集いに「二年に一会」を変えていこうと、高橋正侑幹事長、関戸淳一事務局長を中心に動き出しました。裏祭りも必要か、旅行会は、ゴルフ会は、連絡方法はとか。同期の皆さん、ご意見文句何でも結構です。関戸事務局長まで連絡してください。関戸君の連絡先は(江戸川区高橋14-20 TEL 03-3631-2008 FAX 03-3631-2548)です。住所変更、連絡の未着の方も関戸君へ。 評議員／三浦 昭生

祝 総明会第37回総会

50年卒 明紫会

翼明会の先輩方、総会準備ありがとうございます。
いよいよ来年は、私達がホスト学年を務めることになりました。皆様よろしく御願い致します。

明優会(昭和40年卒)



明優会

明優会は2年に1度総会を開いています。他に新年会、ゴルフ会、釣りの会等があり、賑やかにやっています。本年は4月14日、赤坂東急ホテルにて総会を開催、出席者は34名であった。水落先生、

村野先生を迎えて大変なごやかに時を過ごした。恒例のビンゴゲームでは、同期諸君、協賛品を快く出してくれて大いに盛り上がり有難う。昭和57年にも同じ場所で佐野誠君の好意で総会を開いたが、その時は松枝先生、新井先生そして田村晴彦君がいたことをなつかしく思う。今年の総明会担当学年である翼明会の竹澤啓君、山崎一郎君が宣伝と広告のお願いに来てくれて大変嬉しかった。何故なら翼明会の方々は田村君の教え子達である。初めての出席は本郷龍磨君、わざわざ熊本から駆けつけてくれて有難う。さて、田村君は死して明優会の名を残してくれたが、単に優れたというよりも、明るく和やかに人を思いやる心を持った人物が集う会にしたいと願ってこの会の名称を考えたと思う。さあ明優会諸君、10月13日に総明会に集まり、声高らかに校歌を歌おうではないか。

幹事/米山 廣昭 〒270-2222 松戸市高塚新田160-58
TEL 03-3251-8268

紫讃会(昭和43年卒)

紫讃会では、同期生の親睦と相互啓発を目的に、現在、次のような行事を行っています。①総会及び懇親会の開催(年1回・H13.6.23 オリヂャレにて開催)②ゴルフコンペの開催(年1回・H12.10.29 太平洋クラブ成田コースにて開



紫讃会

祝 第37回総明会総会

バスケットボール部OB会

会長 古川 具弘

9月23日(日) OB会総会を明高にて行います。OBの方々の参加をお待ちしております。

催・今後、参加希望の方はご連絡をお願いします。案内状を送付します。)③有志による旅行会(随時・H13.11.12 鬼怒川温泉にて開催)④幹事会の開催(月1回・毎月第二土曜日に寺田君の店(水新別館 TEL 03-3861-4108)で開催してます。毎回楽しい飲み会になっています。)都合の付く方は、お気軽においでください。10年振りの人でも直ぐ打ち解け楽しい旨い酒が呑めます。また、総明会総会にも是非参加ください。

評議員 志村 一夫

紫讃会事務局/中央区銀座5-8-5 ニューギンザビル10号館5F

(佐久間法律事務所内)

TEL 03-5568-6646 FAX 03-5568-6648

男坂倶楽部(昭和44年卒)

44年卒同期会の男坂倶楽部です。卒業10年を契機に発足させ、すでに23年の歴史を重ねています。活動は年1回の定例総会を中心に進めていますが、今年も4月21日(土)に栗原先生はじめ6名の先生方にも出席いただき、会員も金沢、三重、松本など遠方からの参加者を交え、盛大に開催いたしました。次にわが同期会の特徴的な取組みを紹介します。①年会費の銀行振替での徴収、②年賀状による現住所の定期的な確認、③慶弔金制度の確立、④ホームページの開設およびEメール連絡網の整備、⑤エンブレム・ポロシャツなど男坂倶楽部グッズの制作等々を通じて同期の結びつきをより強固なものにすべく活動を進めています。男坂倶楽部会員諸兄へ…総明会総会での再会を楽しみにしています。

男坂倶楽部代表/福田 正知

事務局/栗田 茂 TEL 03-3678-8880

獅子の会(昭和45年卒)

我々獅子の会の同期の集いは、4年に1度の開催となる総会、忘年会は忙しい時期のため、今年から比較的集まりやすい2月に開催する新年会の2つの集まりを開催しています。「獅子の会 総会」は4年に1度、オリンピックの年に開催しています。直近の総会は、昨年のシドニーオリンピックの後、11月に獅子の会結成後7回目の同



ダイワハウス



住まいづくり、店舗やビル建築、全国28ヶ所のホテルまで総合生活産業を目指します。お気軽にお声をおかけ下さい。

大和ハウス工業株式会社

千代田区飯田橋3-13-1 (担当 溝尾)

TEL 03-5214-2233 FAX 03-5214-2191



獅子の会

期会を開催しました。特に、昨年は明治高校卒業30周年の節目の年であり、また、総明会の幹事学年を担当した後の初めての総会であり、数十名の同期の仲間と、ほのぼのと・和やかに・そして

それぞれの仕事のことも忘れ、久しぶりに夜遅くまで飲み・食べ・遊びました。しかし、獅子の会の会員もう50歳です。残念ながら同期の仲間の訃報を聞くことがでてくる年になりました。そこで今年の新年会では、医者になった吉田亮一君を講師として「50歳からの健康管理について」というテーマで講演会を開催。次回、2004年の総会開催まで元気に過ごし、顔を合わせられるよう吉田君の注意をよく守り(？)、時に仕事で・時に同期の仲間と深酒をしながら活動をする会員の集まりです。 山形 英明 TEL 03-3431-2547

明潮会(昭和46年卒)

「一度はおいでよ 明潮会、いいことあるぞ 明潮会、なには無くとも 明潮会、我が明潮会本舗では、おいしい情報・明るい話題を随時募集中!!」明潮会という心地良い響きの中に、集う仲間の心意気とうねりを感じて欲しい。世の中は混迷を極め、人々は皆苦境に立たされている。これを脱するにはどうしたら良いのか。まずは自分の原点を見直すことである。そして大いなる流れの中に身を任せ、浮かんで見ること。プカプカ浮かんでバタバタもがいている内に、ふと見えてくるものがあるのでは…何かを思い切ること、忘れていた何かを思い出してみること。それが出来るのが、友との語らいであると思う。多感なあの時代を生きた共通体験が、きっと君にパワーとエネルギーを与えてくれる。最大の危機である今こそが最良のチャンス、そんなささやきが聴えてこないか。

金子 敏一 TEL 03-3641-7224

川口明高会

歴代会長

初代 大熊 康浩(昭和29年卒)

2代 目良 昇(昭和31年卒)

3代 久松 勇(昭和33年卒)

4代 天野 洋一(昭和35年卒)

5代 荻野 布昌(昭和40年卒)

6代 石井 次男(昭和43年卒)

現会長

7代 由本 俊昭(昭和45年卒)

事務局

石井 君忠(昭和57年卒)

048(294)3780

会員数 200名

20周年創立記念会旗作成しました。

四七四七同志酔会(昭和47年卒)

幹事学年を担当させて頂き、新しい40代からの友情関係が結ばれ、帰るべきホームがより暖かいすごしやすいものとなりました。社会の荒波にもまれる試練の40代ではありますが、明治の逞しい精神を身につけた我々はそのタフさを証明しています。卒業しても、深いつながりが班・部活動・学年のみならず、学校全体が世代を越えて連携している総明会は、他校では例をみない優れた会であると思います。多くの先輩の皆様への深い慈愛の発露の賜でありましょう。我々四七四七同志酔会も母校明治の発展と総明会の繁栄の手助けができますれば無上の喜びです。

田中 徹太郎

評議員/廣野 宏士 TEL 03-3761-4184

内田 茂 TEL 03-3775-4836

波の会(昭和48年卒)

昨年度幹事を勤めさせて頂きました波の会を代表してご挨拶申し上げます。昨年は準備不足もありましたが、当日は悪天候となり私達幹事としては開会の瞬間までどうなる事か大変気をもみました。しかし、大変多くの方にご参集戴き、無事開催する事が出来ました。これも皆様方のご尽力によるものと感謝しております。紙面をお借りして御礼申し上げます。さて本年度は我々波の会は会としての全体活動が総明会関係の引継ぎなどで、出来ていません。そこで第37回総明会の機会を利用して、波の会総会を開かせていただきたいと、思っています。波の会 会員諸君、今年も総明会総会 会場で会いましょう。第37回総明会 総会のご成功をお祈り申し上げます。

富永 栄之進

明紫会(昭和50年卒)

「昭和50年卒は大丈夫なのか?」という諸先輩方の叱咤激励の中、45歳を迎える私達もようやく動き出すことができました。何よりも、来年の総明会幹事学年としての活動をスタートさせなければならないということで、2月3日に浅草ビューホテルに

祝 第37回総明会総会

波の会

第36回総明会に際しましては、多大なご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昭和48年卒一同

において、5年ぶり2回目の同期会を開催しました。当日は、後藤朋智先生、服部雄二先輩、竹澤啓先輩にもご出席いただき、同期50名以上が参加し、近況報告やビンゴ大会など大いに盛り上がりました。また、同期会名も「明紫会」と決まり、代表幹事などの組織固めをすすめています。卒業以来27年が過ぎ、高校時代を懐かしく感じるこの頃です。そんな時に幹事学年が回るようにお決めいただいた諸先輩方に感謝しております。久しぶりに親友と再会し、楽しい時間を過ごすことができました。現在、明紫会一同、来年の幹事学年として頑張りたいと燃えております。今後とも、ご指導よろしくお願いいたします。

山崎 秀樹 〒270-1356 千葉県印西市小倉台2-1-1-1106
TEL 0476-46-8115 携帯TEL 090-7719-8017

町田 純一 〒183-0051 東京都府中市栄町1-32-50
TEL 042-340-0502

(昭和55年卒)

私共昭和55年卒の同期会は、数年前に1度行っただけで同期会名称も決まっておられません。このような全体のまとまりとしてはこれからの同期会です。また、私個人としましては評議員としてご指名を戴きましてから、何一つお役に立てていない有様ですが、6年後に幹事学年をお引き受けするために盛り上げて行かなければならないと感じております。諸先輩の皆様方のご指導お願い申し上げます。

大迫 好孝

(平成6年卒)

私ども平成6年卒業生の同期会は、平成9年に1度行っております。場所は東京プリンスホテル敷地内のレストランにて、卒業生はもちろんのことその彼女達にも参加していただきました。お世話になった先生方にもご同席いただきました。働き出す前の学生のうちに1回目は行いたいと思っていましたので、実行できたことを嬉しく思います。次回同期会については、時期等まだ未定ですが、社会人4年目となり皆忙しい頃でしょうからもうしばらく経ってからと考えています。その時は皆さんご協力よろしく!

河村 健一 TEL 03-3645-0058

昭和三十九年卒
東陽監査法人(代表社員)
東陽コンサルティング株式会社(代表取締役)
谷 公認会計士事務所(代表)
公認会計士 谷 慈義

(東陽)
中央区銀座六―一三一―一六
TEL 〇三―三五四―一〇四〇
TEL 一三五―〇〇〇―〇四
江東区森下二―一九八―谷ビル
TEL 〇三―三六三―一八〇二九

株式会社 **サンリッツ**
SANRITZ
CORPORATION

営業品目
通信機器周辺製品
液晶ディスプレイ用プラスチック偏光板

代表取締役社長 三上 嗣治(昭和43年度卒)
通信機器部門 開発部長 島野 竹夫(昭和45年度卒)

〒175-0094 東京都板橋区成増1-30-13
TEL 03-3930-1101
FAX 03-3930-1167
ULR <http://www.sanritz-corp.co.jp>
E-mail sohmu@sanritz-corp.co.jp

(平成9年卒)

社会人一年目の我が学年。大学時代一度も同窓会を開催することができませんでしたが総明会総会で久々に会って盛りあがりましょう。

小谷 健志 TEL 03-3996-7217

フェンシング部OB会

昨年の9月14日、新築なった明治大学リバティータワー23階のサロンにてOB会を開催いたしました。当日は部の顧問を長年に渡り務めていただい



フェンシング部OB会

た後藤朋智先生もお招きして素晴らしい夜景を眺めながら昔話に花が咲き楽しい一時を過ごすことができました。残念ながらフェンシング部は現在、休部になっていますが過去を振り返れば

昭和37年 新井智勝 関東大会フルーレ優勝

昭和39年 井原健詞・上田和夫・岩重哲雄・鹿村吉孝
関東大会フルーレ団体優勝

昭和41年 石神修司 インターハイサーブル優勝
阿部政人 インターハイフルーレ2位

昭和43年 高木博史 インターハイサーブル3位

輝かしい戦歴を誇る部です。OB一同、部の復活を心より願っております。次回OB会は日時は未定ですが増島篤(43年卒)が支配人を務める椿山荘で開催予定です。

担当/伊藤 秀文(昭和42年卒)

〒111-0053 台東区浅草橋3-6-1 TEL 03-3851-2564

明高テニス部OB会

テニス部OB会では、毎年、6月第1日曜日に、OB会員親睦会としてゴルフコンペを開催して居ります。本年6月のコンペで第8回大会を数えるに至ります。また我々のクラブではOB会費を徴収して居りませんので、このゴルフコンペによるチャリティー等が貴重な収入源の1つとなっていますのでOB会員の多数の

(株)東京富士カラー

代表取締役社長

山 浦 晟 暉

〒一六六〇〇二二
東京都杉並区和田一―一―二
TEL 〇三―三三八二―四一―二
FAX 〇三―三三八四―八二―一

昭和二九年卒業
総明会副会長・明治白駿会会長
明治高校PTA顧問・学校法人明治大学監事

昭和三三年卒
株式会社富士産業
藤義商興有限公司

代表取締役社長

藤 田 義 茂

(株)富士産業
東京都文京区小石川一―二―一―四
文京駐車場
TEL 三八―八―二四五六代
藤義商興(有)
東京都文京区白山一―五―十二
白山駐車場
TEL 三八―一―一五四五八

参加を、この場を借りて御願い申し上げます。また、秋には、現役中高生との交流テニス大会及びテニスはもう体が付いて行かない等と言われる先輩諸兄も含め懇親会(早い話が飲み会)を、懐かしいお茶の水で開催しています。こちらもぜひ多数のOB会員の参加を御願いする次第です。

OB会会長／荒井 重雄(昭和28年卒)

OB会幹事／鈴木 信夫(昭和47年卒)

連絡先／足立区西綾瀬1-7-4 TEL 03-3886-5884

化学部OB会

20数年前化学部のOB会の幹事をお引き受けして5回ほど毎年OB会を開催していたのですが、いつのまにか途切れてしまい今になってしまった。現役時代の厳しかった先輩や、文化祭で一緒に苦勞した後輩など、なつかしい顔が浮かんでくる。久し振りにOB会を開きたいと数年前から同期の友人と話し合っていたが、今となっては、住所も揃わず困っていた時に、今回の原稿依頼を戴き、良い機会になったと喜んでいきます。化学部のOBの皆さん、ぜひご連絡を下さい。十数年振りにまた先生を囲んで高校時代の思い出を語り合いましょう。

連絡先／墨田区業平1-3-6 TEL 03-3622-0006

総明会クラブOB会

OB会名称／明朋会

担当／森 八一(昭和46年卒)

住所／〒130-0002 墨田区業平1-3-6

TEL 03-3622-0006

E-mail morihati@muu.biglobe.ne.jp

勤務先／(株)森八本舗 TEL 03-3622-8583

サッカー部OB会

我が明治高校サッカー部は、今年でまだ創部6年目という新しい部であるため、OBの数も少なく、これまでOB会は開催されてきませんでした。しかし、昨年のサッカー部が初めて都大会への出場を果たしたのを機に、この3月、顧問の田中徹太郎先生

旧雨会

祝 第三七回総明会総会

昭和三四四年卒

三和繊維株式会社

昭和三四四年卒

小林 功明

昭和三七年卒

小林 久剛

平成元年 明中卒

小林 正典

東京都文京区千石四―三九―一九
TEL 〇三―三九四六―〇二四八

のたつての御希望でもありました第一回のOB会を開催するに至りました。第一回OB会では、少人数なうえにOBが学生であったため、多くの不安を抱えての開催となりましたが、在学当時を振り返りかつての同士と楽しく交流することができました。今後はOB会としての組織を整え、年に1度か2度OBが集まり、語らう場を設けていきたいと思ひます。次回は9月頃の開催を予定しています。詳細は後日御連絡致しますので、OBの方々には是非御出席下さいませようお願い致します。

サッカー部OB会 代表/近藤 歩 (平成11年卒) TEL 048-794-0068

歴史研究部OB会

歴史研究部OB会は現在300名の会員で構成されています。戦後の困難な中、卒業されたOB諸兄が故伊藤好一先生を中心に「ゲルマン会」として出発しました。その後、保坂先生、栗野先生と顧問の先生が変わり現在の名称になり、新橋駅前のOBの経営する喫茶店「メルシー」に事務局を置かせていただき、交流の場としています。事業としては、年1回の総会、ゴルフコンペ、懇親旅行、文化祭訪問等を企画しております。この間、初代顧問の伊藤好一先生のご逝去という悲しい出来事がありましたが、一昨年には、創部50周年式典を、先輩が社長をされている横浜ベイシェラトンホテル&タワーズにて、総明会向殿会長のご臨席のもと開催いたしました。記念事業として上海、杭州旅行を企画し楽しい旅をして来ました。創部以来のモットーである「みんな楽しく」を合言葉に70代から20代まで楽しく集まっております。



歴史研究部OB会

担当/平澤 一義 (昭和42年卒)

事務局/港区新橋1-15-9「メルシー」内

TEL 03-3591-7038

明治高校中学歴史研究部OB会事務局/大塚 健太郎

歴史研究会OB会

名誉顧問

保坂 吉彦 先生

栗野 哲也 先生

顧問

大塚 健太郎 (三十七年卒)

会長

平澤 一義 (四十二年卒)

副会長

山形 英明 (四十五年卒)

石川 俊彦 (五十四年卒)

幹事

鈴木 勝一 (三十八年卒)

結城 康郎 (四十二年卒)

事業部

池田 高征 (三十八年卒)

会計

中山 隆司 (四十四年卒)

土田 正昭 (六十年卒)

会員数 三〇〇名

陸上競技部OB会

陸上部OB会の今年の予定は未定ですが、例年ですと、9月に開かれます。詳細は、未定ですが、大学1年の代が、上小牧先生と段取りを打ち合わせる伝統(?)になっております。今年はどんな企画になるやら。大学1年生の諸君、よろしくお願ひしますよ。また、総明会総会が学校に近い東京ドームホテルで開催されますので、現役の活動ぶりを見学後、総会に繰り出すというのはいかがでしょうか。

OB会連絡先／櫻井 勝也(平成7年卒)

江戸川区東小松川2-14-12 TEL 03-3652-8580

図書班OB会

図書班OB会では特に定例会を行っていません。最近では、5年前に、明治大学の那古寮の閉寮と寮の管理人でおられた、桜井利子さんの定年にあわせて、「館山のお母さんありがとうの会」を神田で開催しました。長年にわたり合宿でお世話になり、多大なご指導も受けてきました私達にとっては、那古寮なくしては図書班は語れないという位でした。那古のお母さんを山の上ホテルに2泊ご招待して、約30年に及ぶ全明治大学の学生に対して注いだ愛情ある仕事と無事故で過ごされたことに対して心よりのお礼の会を持つことができました。特に49年卒の英検1級、通訳ガイド試験合格の努力の男の山村君が幹事を務め大活躍をしてくれました。地味なイメージの図書班ですが、42年卒の伝説の天才小山廣和先輩と50年卒の好漢内木幸介の2名が見事、明大卒業式の総代になったほか昨年の総明会実行委員長の富永栄之進、委員の名倉豊、47年卒には、何かと大活躍した川合章、住宅カメラマンとして有名な小松敬典、そのあとにも、世界を歩ってまわり数々の武勇伝を作ったアウトドアライターの菊池富二夫、宝くじみたいな東京都の中学教員試験に受かってしまった川名猛司、52年卒の頑張り屋の大西静士郎など、知性と痴性の多くの人材を輩出しております。

平田 幸彦(昭和45年卒) TEL 03-3589-0687

医療・介護・柔整・鍼灸等事業者の保険
株式会社 タカダ保険事務所

代表取締役 **高田 信一**
(昭和34年卒)

東京都江戸川区松島4-27-13
TEL 03-3654-9181
<http://www.takadahoken.co.jp>

税務・会計・経営・会社設立
森会計事務所

税理士行政書士 **森 敏孝**
(昭和37年卒)

事務所 〒229-0037 相模原市千代田3-1-17
TEL 042-758-1933(代)
FAX 042-758-3729
自宅 〒229-0037 相模原市千代田6-4-8
TEL 042-758-3729

放送班OB会

平成2年に顧問でいらした田村晴彦先生がお亡くなりになり、それを期に「田村会」を結成しました。昭和50～58年卒くらいが中心です。年に一度、ご命日の5月17日近辺にあわせ第2土曜日にお墓参りを兼ね、参集しています。その後に、先生のお兄さんが経営なさっている西日暮里6丁目のお好み焼き屋「ムチン」で、会合を開くのが最近の傾向です。田村先生にご縁があった人たちの集まりという事で、多少限定されていることもあって、参加者は、平均12人程度です。来年は早くも13回忌という事もあり、広く呼びかけをいたしたいと思っています。どうぞ遠慮なさらずに参加の程お願いします。今年も5月19日に会合をもち、肅々と参拝し、お偲び申し上げました。その後の会合では、昔の話、今の仕事、興味あることに話が弾み、気が付くと、4時間も長居してしまうほどでした。写真はそのときのものです。まだ、参加されたことが無い人もたくさんいます。是非とも来年はお会いしましょう。



放送班OB会

OB会名称／田村会

担当者／吉田 雅博(昭和54年卒)

埼玉県川口市本蓮2-8-6 TEL 048-285-8563

剣道部OB会

OB会活動状況①総会を年1回、10月に開催。②OB合宿と称して一泊二日の旅行の実施。③新年会の開催。(学年幹事の企画会議を兼ねる)④稽古会を毎月第二土曜日に実施。⑤現役の中高生に対して、剣道の指導。

OB会名称／見心会

[役員構成]

会 長／館野春男(昭和13年卒)

副 会 長／戸谷好夫(昭和32年卒)

理 事／加藤佳一(昭和34年卒) 渡辺寿太郎(昭和34年卒)

自宅
TEL 170-0013
FAX 03-31397116
東京都豊島区東池袋二丁目五七一

(有) 三 浦 屋
三 浦 昭 生
昭和三十八年卒

株式会社 シティ・ハウジング
代表取締役 佐 藤 仁
(昭和39年卒業)

本 社 東京都大田区西糀谷4-28-14
TEL 03-3747-7177
FAX 03-5705-8097
E-mail: jinsato@cityhousing.co.jp

糀谷本店・蒲田東口店・大森店・雪が谷店

園部雅英(昭和35年卒) 波多安正(昭和3年卒)
幹事長/武田雅夫(昭和36年卒)
副幹事長/照沼邦夫(昭和37年卒)
学年幹事/卒業学年から1名
会 計/矢光善美(昭和39年卒) 羽田郁雄(昭和52年卒)
事務局/鈴木幸男(昭和44年卒) 大澤保男(昭和48年卒)
顧問/小西哲男(教諭) 北村 純(教諭)
監 督/矢光善美(昭和39年卒)
助 監 督/鈴木幸男(昭和44年卒) 大澤保男(昭和48年卒)
加藤和久(平成8年卒)

現会員総数/237名

担 当 者/鈴木幸男(昭和44年卒)

〒305-0844 つくば市小白谿672-273

TEL 0298-38-0387 E-mail tatujin@orion.ocn.ne.jp

勤 務 先/常総学院中学校 事務長 TEL 0298-42-0708

応援団OB会

我がOB会は、昭和24年度小田川玉城会長以下、約200名の会員を有し、年1回の定期総会をはじめ、ゴルフコンペや懇親会を随時行っており、また各行事では大学生OBが実行委員を務め、幅広い年代に亘りOBが集い、飲み、楽しく、且つ、母校明治のため力を合わせOB会を盛り上げております。また、現役応援団に対しては、現役中心主義を尊重しながら、長い年月に亘り先輩方が培ってきた伝統を途切れる事無く21世紀に伝えるべく、OB会より派遣しているコーチ2名を中心に、各現役活動の指導並び視察を行っております。

明治大学付属明治高等学校応援団OB会

事務局/開発 武志(昭和56年卒) 足立区谷在家1-7-14 TEL 03-3890-5188

明雪会(スキー部OB会)

スキー部は、1951年に創部し、以来、半世紀に渡り数々の大会に於いて優秀な成績、記録を残し、また多くの名選手を産み出し、東京都に「明治あり」の名声をスキー関係各方面に強く印象づけてまいりました。今年創部50周年を迎え、明雪会の会

昭和27年卒業

米 山 耕 右

昭和33年卒業

米 山 武 男

昭和40年卒業

米 山 廣 昭

〒101-0047 千代田区内神田2-3-2
TEL 03-3251-8268

昭和40年卒

明 優 会

事務局 坪田達夫

TEL 3947-2431

員も350名を数えるまでになり、これは、水落八郎氏、村田博親氏、笹倉康夫先生、その他、各顧問先生方の御指導のたまものと、明雪会一同、大変感謝しております。歴戦の記録を振り返りますと、1955年、東京都スキー選手権大会優勝から始まり、インターハイ出場は、昨シーズンまで、37回に及び、近年では、1989年より13年連続出場、また、関東大会へは、1956年の第一回大会より連続出場の記録を更新しております。もちろん東京都の各予選会では、優勝、上位入賞とも、数多く記録しています。その他、国体、全国中学、全国ジュニアオリンピック出場等、アルペン、クロスカントリー種目共に、常勝校の地位を不動のものとしております。このような輝かしい栄光の歴史を築いてきたOB会=明雪会は、会員相互の親睦と現役選手の更なる活躍のためのバックアップを中心に活動しています。年間行事として、年2回のゴルフコンペ、2月のスキー合宿、11月の総会、親睦会を実施しています。スキー合宿では、60才台から20才台のOBまで参加し、選手時代の思いを胸に、白銀の世界で、その往年のスキー技術を競いあっています。また、親睦会では、現役選手、顧問先生にも出席して頂き、大会で成績の報告、今シーズンの目標等を発表してもらい、明雪会としての現役へのバ



明雪会

ックアップの内容等を決めています。今年を中心行事は、11月2日(金)に行います、創部50周年記念祝賀会で、5月より実行委員会を設立し準備を進めています。詳細につきましては、

スキー部五十周年記念式典・祝賀会のお知らせ

日時／平成13年11月2日(金) 午後7時開式

場所／東京全日空ホテル36階 スカイバンケット・シリウス

東京都港区赤坂1-12-33

※御案内状等、詳細に付きまして、御手数ですが、左記事務局まで、ご連絡をお願いします。

事務局	幹事	顧問	名誉顧問	副会長
五十嵐 公一	伊藤 真之	錦藤 祥介	服部 憲一	堀山 弘昌
(昭和五四年卒)	(平成三年卒)	(昭和六三年卒)	(昭和五十年卒)	(昭和三十九年卒)
	山本 進治	山田 孝朗	井上 暢男	佐藤 健彦
	(昭和四一年卒)	(昭和三八年卒)	(昭和三六年卒)	(昭和三一年卒)
				大津 敏彦
				(昭和三十年卒)
				水落 八郎
				(昭和二八年卒)
				堀山 真昭
				(昭和四六年卒)
				米山 廣昭
				(昭和四十年卒)
				若松 弘昌
				(昭和三十九年卒)

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-20-3 (有)ますだや内
TEL 03-3311-8129 FAX 03-3311-9574

御案内状を、関係方面の方々へ郵送させていただきます。御協力、宜しく御願ひ致します。

明雪会 会長／若松 弘昌 副会長／米山 廣昭

副会長／堀 真寿 事務局／五十嵐公一

(事務局) 〒166-0003 杉並区高円寺南2-20-3 ますだや内

TEL 03-3311-8129 FAX 03-3311-9574

明卓会(卓球部OB会)

目的 会員相互の親睦をはかり、相互の共存共栄の実を挙げ、母校卓球部現役強化の為に種々尽力するとともに、母校の発展に協力するものとする。

歴史と活動状況 昭和40年代までに数回開かれたが、50年代に入ってから途絶えていたOB会を57年に、ある先輩の鶴の一声でしっかりした統一性のある組織を作ることになり58年からは毎年総会を行い、平成11年には第20回記念大会をリバティタワーで開催した。昭和63年からは母校格技室をお借りして指導も兼ねて現役と一緒に卓球大会も行い、体力の衰えを実感しながらも時折見せるファインプレーや珍プレーに盛り上がり、良い汗を流す楽しいひとときとなっている。この間、昭和47年卒の前原正浩君が56年に日本チャンピオンに輝き、世界選手権をはじめ多くの国際大会で活躍した後、監督としてシドニーオリンピックに参加するなど現在の日本卓球協会にはなくてはならない存在になっている。また、平成9年には母校卓球部に、卓球台と練習用ロボットマシンを寄贈した。

連絡先／山崎 泰夫(昭和42年卒) TEL 03-3803-2514

囲碁部OB会

在職時に顧問をして頂いていた、村野圭吾先生を囲んで、毎年2〜3回、囲碁・ゴルフ・旅行などを行なっています。

連絡先／宮林 英次(46年卒) TEL 0474-53-2596

岡田 弘(46年卒) TEL 03-3717-8095

田島 弘資(52年卒) TEL 03-3678-1454

昭和四二年卒

銀座中央法律事務所

小野寺 昭夫

〒一〇四一〇〇六一
東京都中央区銀座八一六―二五
河北ビル五階

TEL 〇三―三五七三―七六六一
FAX 〇三―三五七三―七六六一

昭和四三年卒

竹川忠芳法律事務所

弁護士

竹川 忠芳

〒一〇〇一〇〇一三
千代田区霞ヶ関三一六―五
霞ヶ関三丁目ビル

TEL 〇三―三五〇四―一三〇八
FAX 〇三―三五〇四―一三〇七

吹奏楽班OB会

OB会の目的を「現役後輩の援助」と「会員の親睦を深める」こととして年間を通じて活動を致しております。年1回の総会・懇親会をスタートに、夏期合宿への陣中見舞、大会への補助、定期演奏会での花束贈呈など、微力ながら現役のお手伝いをしている状況です。一昨年は、定期演奏会が第40回という節目を迎えました。明治大学を通じての文化交流の一環ということで、昭和女子大学の人見記念講堂という日本でも有数の音楽ホールをお借りし、現役・卒業生を合わせて総勢80名の合同ステージを企画、無事に終了致しました。また、定期的に行っております各代幹事会のほうも、大学生を含む若手の参加が増え、より現役とのパイプが太くなれば活動も広がっていくものと考えております。

深井 重男 (平成2年卒 OB会幹事、事務局次長)

TEL 03-3841-7718 FAX 03-3841-7595

吹奏楽班OB会

会 長／阿部 正行 (昭和40年卒)

事務局／上陽電設株式会社内 (〒101-0021 千代田区外神田6-10-11)

TEL 03-3834-1329 (代)

バレー部(排球部)OB会

バレー部は、前顧問の松枝正弘先生が戦後創設されて以来、51年が過ぎようとしております。平成2年3月に松枝先生が御退任されて以来現在まで、山中禎一郎先生の御指導のもと、部員一同バレー部魂を引き継いでいます。OB会は過去にバレーボール大会や、ハイキング会、ゴルフコンペ等、活発に行って参りましたが、昨今は種々の事情により活動は中断しております。しかし、OB会として現役の春・夏の合宿には、些少ではありますが援助金をだし若手OBは、合宿にも参加し、山中先生の良きサポートをしております。大先輩のOBは、体力的には貢献出来ませんが、その分現役に対し金銭的・精神的援助に徹しております。

担当／服部 雄二 (昭和44年卒) TEL 0473-52-8955

祝 第37回総明会総会

紫 讃 会

昭和43年同期会

祝 第37回総明会
**明治中・高校
バレー部OB会**

OB会会長

山口 一 磨 27年卒

バレー部 顧問先生

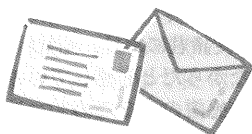
山 中 禎一郎

以上の皆さんからの原稿のほか、電話で「久しぶりに総明会総会であおうよ!」「高校を卒業してまだ同期会を開いていないので、その打合せを総明会総会でやろうよ」「社会人になって数年、そろそろ同期会を開こうか」等々、御連絡を頂きました。(同期会・クラブOB会に原稿を依頼いたしましたが、締切までに到着したものを掲載させていただきました。なお、総明会名簿に連絡先が掲載されていなかったため原稿依頼を送ることができない会もありました。住所変更等ございましたら明治大学付属明治中学・高等学校内総明会まで御連絡下さい。)なお、明治高校は来年90周年を迎えることになり、校史編纂が行われています。総明会会報担当といたしましても会員の皆様からの原稿(旧制明治中学校の思い出、戦争中の混乱期の苦労話、新制中学・高校への移行期間のできごと、大会出場の思い出等々なんでも結構です)をもとにより充実した紙面作りを考えております。会員の皆様からの原稿をお待ちしております。

■原稿の宛先は

〒101-0064 千代田区猿楽町2-4-1
明治大学付属明治中学校・高等学校内
総明会事務局

まで御願います。



祝 総明会第37回総会
吹奏楽班OB会

会 長 阿 部 正 行
(昭和40年卒)

中 能 谷
沢 勢 田
秀 文
渉 明 夫

祝 第三七回総明会総会
昭和四九年卒書道部

櫻井正美先生御退任

『白雲吟情』

—— 即ち賦して、平成十三年弥生三月退職に
臨み感有り、而して拙詩を詠ず。(七絶灰韻)

白雲 ^{びぜん} 靡然たり、駿河台。

校歌 合唱すれば、健児の才。

何ぞ四十年、男坂の夢なるを。

^{とうぼう} 登望して ^{かな} 志向、更に悠なる哉。



地理研究部 (49年卒 卒業アルバムより)

40有余年にわたり、生徒諸君と共に本校「校歌」を歌い続けたこと、先ずもって感謝したい。そして一緒に合唱できる多くの知友を持って誠に嬉しく思う。学校行事で勿論のこと、総明会・OB会・PTAの会合で同席した方々と「オーオ明治！」を高らかに唱えたのは数限りない。多くの方々と新たな出会いと、また別れも体験することになった。その間に流れた歳月を、新世紀に入ったこの4月から、改めて回顧する日が多くなったようだ。思えば、47年前の入学式で私は明大生として校歌を初めて合唱して以来、良き学友・吟友そして先輩との出会いに恵まれ、学恩高き幾多の恩師に御叱咤・鞭撻を頂いたことに、深い感謝の念で一杯です。その上、今日まで元気に在職できたのは、青春の真只中、意欲的な生徒諸君に毎日、元気付けられ、寧ろ新たな課題をもって教えを得たからだと痛感している。ここに生徒諸君と共に卒業諸君に、厚く感謝の意をこめて、拙い一詩を表したいと思う。長い間、“元気”を頂き、本当に有難うございました。(2001年4月27日・記)

祝 第三七回総明会総会

昭和五一年卒同期会

明々会

祝 第三七回総明会総会

昭和五二年卒同期会

明治ブリリアント
クラブ

班・部の活動状況

今年は21世紀幕開けの年となっています。そこで、新しい世紀の活動目標を班・部に聞いてみました。

生徒会本部

21世紀の活動目標は、新しい事に挑戦するという、新しい事に対して目を向けるだけではなく、過去に先輩方がなされて築きあげた古い事にも目を向け、明治の伝統とこれから我々が作ると思われる、新しい生徒会本部を作っていくのが今年度の目標であります。21世紀はじめという輝かしい時になぜそんな事をするのかといいますと、それは昔の明高・中というものにほれるものが個人的にあるのは別として、生徒会本部が創設されて以来、この学校では様々な事が変わり行われていると思います。しかし逆にその偉業の積み重ねが初心というものを忘れているのではないかと思うのです。何故このようにしたのか。と、いう事を今一度確認し、そして現在の背景と照らし新しき明治を作るのが前述した通り目標であります。今後もよりいっそうの努力をし、理想の明治が出来たら幸いです。

(総長 福光 真澄朗)

應援指導班

応援団とは一考えれば考える程その答えを出す事は難しく、今日の応援団を創られてこられた先輩諸兄もその答えを出そうと苦悩してこられた事と思う。過去を振り返ってみても終戦後、混乱と退廃の中学生に希望を与えたのが我々応援団であり、「時代に即応した新しい感覚」を受け入れてきた結果今日に至る訳である。「時代に即応する」という点から私は応援団とは社会の風潮を映し出す鏡であると考え。各々の時代で学校が本当に必要としているものは変化してゆくし、その中で我々は母校の為苦悩を続け“新しい何か”を考え、実行していかなければならない。そんな時代の変化に対応し今まで積み重ねてきたものを、伝統とし今日まで大切に守られてきた。しかし私はこうも思う。たしかに伝統を守る事も大切だがそ

祝 第三七回総明会総会
昭和五四年卒同期会
明誠会

昭和三六年卒
銀座シティ法律事務所
弁護士
谷 正之

〒一〇四—〇〇六一
中央区銀座一—八—一四
大新ビル八階
TEL 三五六一—八六八六
FAX 三五六一—八六八五

れだけではいつかは廃れてしまうのではないか、と。伝統をよく見つめなおし、今学校が必要としているもの、今我々ができる最善の事を考える事が必要ではないか、と。だがやはり新しく何かをはじめるという事は大変難しく、勇気もいる。また思いつき止まりでは意味がない。何かをはじめられるだけの力がなくてはならないものだ。その為に今までも、そしてこれからも我々は日々辛い練習に耐え、母校の為に力をつけていかなければならない。伝統を守る事も確かに大切だが、その伝統を過去の歴史として消化するだけではなく、何かをはじめめる為の武器として使わなければならないのではないかと私は思うのである。しかしこれは我々が考える以上に難しい事でありそう簡単には成功する事はない。21世紀を迎え、我々明治高校応援団も52年目を迎えた。私は今年1年間、過去の先輩方のように、また顧問である山田先生はもちろんの事今まで協力していただいた方々の為にも、団員と共に団結し母校の為力をつくしていきたいと思う。

(班長 持増 寿邦)

新聞班

「明校のオピニオン・リーダー!？」顧問(「時には印刷係」と読む):松田孝志。故小田島利晴先生から顧問を引き継いで約10年間。しみじみ思うのは「新聞班は、本校において不思議かつ不可欠な集団」であるということ。“流れ始まり、流れ解散”。おそろしく頭の切れるのがいると思うと、昼行灯みたいなものもある。普段は、ポヤァーッ・フワァーッ・ダラーッとしているのだが、ちゃんと新聞が発行される。もっとも、社会・時代の流れには逆らえず、班員の数も新聞の質も、先輩諸兄には「なっとらあーん、先見を持てッ!」と叱咤されるかもしれない。また、「顧問は何をやってるんだッ」とお叱りを受けるかもしれない。しかし、それでも、この“不思議かつ不可欠な新聞班”は、まさに紆余曲折・迷走しながら、生徒会予算における新聞制作費は班・クラブ一を占めている。21世紀の活動の目標!？明校のオピニオン・リーダーを標榜しつつ、なるよーになっていく。やはり、前述の新聞班の伝統的空気・臭い(あくまでも香りではなく)は、堅持していくのだろーと確信している。

(顧問 松田 孝志)

昭和三十七年卒		新廻町法律事務所	弁護士
福島 啓充			
〒一〇二一〇〇八三	千代田区麹町三十七四		
TEL 三三三四〇五一	秩父屋ビル五階		
FAX 三三三四〇五一			

昭和四十二年卒		結城康郎法律事務所	弁護士
結城 康郎			
〒一〇五〇〇〇一	港区虎ノ門二一六		
TEL 三三三五〇六一	森ビル九階		
FAX 三三三五〇六一			

吹奏楽班

吹奏楽班は何時の時代も「聴いてくださる人々に感動を与える。」事がその最大の目標であります。日々の練習の中で、常に今の自分に足りないものを考えさせ、友の心を察することのできる人間になること。必要とあらば、たとえお互いに傷つくことになっても大切なことは伝える勇気をもつこと。これができる人間を音楽を通して育てていきたいと思っています。そういう子供達の集団になったとき、きっと明治高校吹奏楽班は世界中の人々を感動させることのできるバンドになります。私は顧問としてそんな事を21世紀の活動目標にしていきたいと思っています。

(顧問 鈴木 正人)

放送班

21世紀を間近に控えた数年間、放送班は班員の減少という厳しい状況に置かれました。それまで担当していた学校行事等での裏方仕事も担当できないほどの人数になってしまう状態でした。実際、放送班の存続自体が危ぶまれたものです。しかし、21世紀に入り、状況は好転しつつあります。新しいメンバーの努力により、班員数も徐々に増えています。また、班活動の形態も、旧来のように放送班に個人のエネルギーを注ぎ込むような形ではなく、他の班・部との兼務を前提としたゆるやかなものにシフトしてきました。さらに、いくつかの活動コースを設定し、班員それぞれが自分の興味ある分野での活動ができるように準備を進めています。現在構想中のメニューには、電子工作やアマチュア無線などがあります。新しい世紀をむかえ、放送班の活動は新しい段階へと歩を進めた感じがあります。今までとは違う形ではありますが、生徒の意欲は高まりつつあります。これからの放送班の活動にご期待ください。

(顧問 小林 伸一)

図書班

新世紀に入って4月から生徒が図書貸出しを受ける場合、生徒証に内蔵したバーコードにより迅速にその手続きが済む。昨年は25名の班員が随時、図書館の活動をしたが、紫紺祭参加、上野の

昭和四三年卒(会報委員会)
佐久間法律事務所
弁護士
弁護士

佐久間 洋一

〒一〇四〇〇六一
中央区銀座五―八―五
ニュー銀座ビル十号館五階
TEL 三〇一五五八―六六四六
FAX 三〇一五五八―六六四八
Email sakumala@5.dion.ne.jp

續法律事務所

辯護士 續 孝 史
(硬式野球部OB・昭和52年卒)

東京都港区愛宕1-6-7-701
TEL 03-5777-5571

博物館で中国国宝展見学、清里の夏季合宿など図書班のルネッサンス活動が盛んで、他部と交流サッカーをして相互の親睦が明るく開放的な班の雰囲気をつくるもとになっている。一方、当面の高度な通信技術の発展に伴い、この急激且つ広大な情報データ網とのオンライン・システムを、学校図書館としては積極的に対応するのが急務である。時に学習指導要領の改訂と共に情報科の授業が新設されるが、既に進展のIT変革に対し、生徒は学習資料の情報センターとして図書館を大いに利用するよう、充実した情報施設を設置する必要が望まれる。従って生徒が自主的に基礎学力を蓄積し、広く文学・芸術・社会から共通の科学を学習するスタディールームであってほしい。

(前顧問 櫻井 正美)

剣道部

大正12年に創部されました剣道部は、第2次世界大戦後GHQにより禁止されましたが、昭和28年竹刀競技として復活し、その後、今日の剣道部として歴史と伝統を誇っています。剣道部のOB会・見心会は、館野会長(昭和13年卒)のもと約250名の会員数を誇り、総会や歓送迎会等年数会現役の生徒との交流・後援を行っています。在校生の部員は、一時減少し存続が危ぶまれた時期もありましたが、現在43名(高Ⅲ 18名、高Ⅱ 9名、高Ⅰ 5名、中3 2名、中2 9名)の部員が在籍し、格技室で週4回汗を流し、中体連・高体連の試合の他千代田区・文京区民大会・5大学付属大会の試合での好成績を目標に努力しています。一方剣道は試合だけでなく昇段審査という努力目標もあり、部員一人一人が個々の3年間・6年間の目標達成のため日々研鑽しています。

(顧問 小西 哲男)

高校硬式野球部

かつては春夏合わせて7度の甲子園出場を果たしたわが明治高校硬式野球部ですが、昭和40年選抜大会出場以降、久しく甲子園からは遠ざかっております。こうした現状を打破し再び甲子園出場を果たすことは、現役選手はもちろん指導者、OB、学校関係者の悲願であります。しかしながら、現在、東京の強豪校は、ほ

〒116-0003 東京都荒川区南千住二丁目三四一四
TEL 〇三三三八〇一六八三〇

登録商標 ゼイタク煎餅
東京名物 重盛の人形焼

(有)重盛商店

重盛元也

(長男 中学3年在学中)



Kanto Estate

庄子比佐史

昭和49年卒

宮下 守正

(宅地建物取引主任者 行政書士)

髯カントーエステート

東京都知事免許(12)第2612号
〒116-0011 東京都荒川区西尾久1-20-12 M2ビル
TEL 03-3894-8161(代) FAX 03-3894-3682
E-mail good.job@tcn-catv.ne.jp

ば例外なく推薦入学を利用して有力選手を獲得しており、そうした相手と互角以上の戦いをするためには、猛練習だけでは不可能に近い困難があります。そこで、期待をよせるのが明治中学野球部から進学してくる選手であります。実際、明治中学時代に都大会進出を果たしたような代は高校に進んでも勝ち上がる場合が多く、中学野球部のレベルアップは即高校硬式野球部のレベルアップに直結すると言って過言ではありません。したがって21世紀は中高6年一貫で野球を指導する体制を確立し、悲願の甲子園出場を現実のものにしていきたいと考えます。(顧問 田村 孝廣)

高校軟式野球部

高校軟式野球部をお預かりして20年目の昨年春の都大会で私には初めてのベスト8!部員数はこのところコンスタントに40名前後おります。野球の経験のない生徒も入部してきますが、あの平井の河川敷グラウンド25面で一生懸命ボールを追いかけて、3年後には立派な選手になって卒業してゆきます。顧問の「活動目標」は試合で勝つことよりも平素の練習を通じてチームメイトとの友情を育くむことを第一義としています。「コミュニティ」としての軟式野球部で苦楽を共にすることで部員一人一人が他を思いやる心を培ってくれば、と考えているからです。だが軟式野球部員は顧問の思惑を遙に越えたことを成し遂げていております。学習と部活動の両立を図り、その向上意欲は旺盛なるものがあります。21世紀もこれまで通りに突っ走ってほしいと願っています。(顧問 大野 正隆)

中学野球部

ここ数年、中学野球部は入部希望者が多く、部員数50人を超える状態が続いている。とはいえ、そのうち小学校時代にしっかり野球をやっていた者は皆無に等しく、新入部員には初歩の初歩から指導せざるを得ない現状がある。それでも、3年間努力を積み重ねることによって、少年野球あがりの選手をそろえた強豪校に互角以上の戦いができるようになるものである。中学野球部の主力はほとんどそのまま高校硬式野球部の主力になる。したがって

祝 第37回総明会総会

昭和45年卒

獅子の会

祝 第三十七回総明会総会

明潮会

昭和四十六年卒

明治高校の甲子園出場は中学野球部の選手養成にかかっているといっても過言ではない。そこで21世紀の活動目標としては、「明治高校進学後、甲子園を目指せるレベルの選手養成」に尽きる。具体的には、(1) 野球に必要な基礎体力をつけること、(2) 勝負に勝つための強靱な精神力を培うこと、(3) ゲームをより有利に戦うための知恵をつけること等が目標としてあげられる。中学生という発達段階を考えると、野球を楽しむという要素が不可欠であろう。その結果、野球が好きになればなるほど上記の目標成就に近づいていくのは自明の理である。(顧問 田村 孝廣)

高校山岳部

前顧問、故新井久雄先生の後を継いでから、もう13年になります。その間、下野先生や浦田先生に副顧問をお願いし、現在は小柴先生と一緒に山行を続けています。また明大職員の阿部君、明大3年の市田君、同2年の三浦君等のOBに監督・コーチとして力を貸してもらっているところです。それにしても、この間、いろいろなことがありました。剣岳の難所「カニのヨコバイ」で部員が足を踏み外したことは、今思い出しても冷や汗が出ます。また、冬の丹沢で私自身が滑落しかけたこともあります。そういう数々の経験も踏まえて、この数年で次のような点が変わりました。(1) 剣岳を合宿地から除き、代わりに飯豊連峰や八ヶ岳、白馬連峰等を合宿地に組み入れたこと(ちなみに「槍・穂高」「北岳・間ノ岳」は従来通りです)。(2) いわゆる冬山登山をやめ、冬季は低山ハイキング程度にしたこと。(3) 山岳部という主旨はそのままにしつつ、野外でのバーベキュー、温泉めぐり等の楽しみも取り入れたこと…等です。いずれにしても、『アウトドアブーム』とは言いつつも、部員の確保は決して簡単ではないのが現状ですが、今後も楽しく、そしてけじめのある部として頑張っていくつもりです。(顧問 山口 弘)

水泳部

本校水泳部は“プールの無い水泳部”として極めて有名であります。OB会に参加させていただきますと、会長さんや幹事さん

昭和四十九年卒
小林法律事務所
弁護士
小林 信明
〒102-0083 東京都千代田区麹町一―六―九
TEL 〇三―三二三八―八五―一五
FAX 〇三―三二三八―一二三一
DICK 麹町ビル三階

昭和五十六年卒
須藤司法書士事務所
司法書士
須藤 貢一
江東区牡丹二―九―一六―九一四
TEL 〇三―三六四三―一六五〇

昭和四十七年卒
(有)犬塚木工所
常務取締役
犬塚 浩章
〒164-0012 東京都中野区本町三―一四―一七
TEL 〇三―三三三七―三〇二六五
FAX 〇三―三三三七―三〇二六七

等の諸先輩方のごあいさつの冒頭には必ずと言ってよい程、「プールの無い我が明高水泳部…」と枕詞が付くのです。今、水泳部は通常は東京体育館の大プールと小プールで、夏期は神宮プールで活動しています。千代田大会だけは、ほぼ確実に優勝しています。高体連に対抗する形の新スポーツ連盟の方の大会は参加校に強豪がありませんので、極めて良い戦果を上げております。21世紀もずっとこの様につづけていきたいと思えます。プールが無くても、資金はかかっても、どの学校も持っていない巨大プールが本校のプールなのです。近年、学校が西調布というはるか遠くに行くという話があります。もしそうなったときの校舎の建物にプールが無いなんてことになったら、水泳部の今のシステムは崩壊します。21世紀の水泳部は都心の大プールが道場なのです。学校移転に反対！ (顧問 土岐 明利)

スキー部

バブル崩壊、若者人口減少、スノーボード人気等の影響でスキー人口が急減。それがそのままスキー部員の減少になったかどうか定かではないが、今、部員の減少に悩んでいる。特にノルディック部員は、高校3年生が2名だけになってしまった。したがって目標としては、部員の確保、増加という事が最大の目標である。その上でノルディックの方はここ8年ぐらい続けてインターハイ出場をしているので、その伝統を崩さないようにしたい。またアルペンの方は、毎年関東大会に出場しているので連続出場を途切れないようにしたい。そして最後に過去に2年連続都で団体優勝したこともあるので、ふたたび団体優勝をめざしたい。 (顧問 笹倉 康夫)

卓球部

明治高等学校・中学校の現在の卓球部はOB会より物心両面に渡って多大な御援助、御協力を頂いております。このことに関してまず厚くお礼を申し上げます。御存知の通り明治高校卓球部は、過去に元全日本チャンピオンを輩出した輝かしい実績を背負っています。先輩諸兄が、今後の明治高校卓球部の活躍を期待されることは至極自然のことと思います。これからの卓球部といっても

昭和四四年卒
総明会会計

関谷 芳久

〒一三三〇八四三
東京都足立区西新井栄町三一八一五
TEL 〇三三三八六―三三二一八

昭和四一年卒
酒・食品

(有)有馬屋

有馬 博

東京都台東区千束一―五―三
TEL 〇三三三八七三―一八一八
FAX 〇三三三八七五―五三二一六

生徒会本部紫紺クラブ
生徒会OB会

会長 三浦 昭生
(昭和三八年卒)

事務局 長谷川 裕
TEL 〇三三五一六―四三九五

今までと大きく変わることはないと思います。今まで通り、学業と両立させ、学業では習得しえないものを補完する、教育的価値としての意味を保ち続けていくものと考えます。即ち、技術や身体、の鍛練のみでなく、生徒の自主的主体的な運営による自治能力の涵養、先輩や後輩、教員、また他校生徒との交流を通しての人間関係の修養等です。これらの価値を有するがゆえに、部活動は、21世紀も学校教育に生き続けることになるでしょう。今後ますますのご支援をお願いいたします。(顧問 星野 均)

柔道部

柔道部は、1998年度より、活動目標を都大会出場と決め、厳しい稽古にしました。その結果、稽古内容を変更して1年目にして、その年の新人戦で個人の部ではありますが、都大会出場を達成し、翌年には、すべての大会において団体・個人の両方とも都大会出場と成果をあげました。このすべての大会において、都大会出場という記録は、3年間、現在まで継続中であります。また、都大会においても、団体・個人ともベスト16になるなど、柔道の強い生徒を推薦で獲得している学校が都大会出場校の大半を占めるなか、輝かしい成果となっております。21世紀は、都大会出場は当然のこととして、都大会において、団体・個人ともベスト8進出を目標にし、さらに、関東大会、インターハイといった全国レベルの大会に出場できるように、日々精進していきたいと思っております。(顧問 櫻井 清孝)

ソフトテニス部

ソフトテニス部の活動はコート練習が週に2回、水曜日と土曜日にあります。練習日が少なくまた部員数も多いためなかなか十分に練習できないのが現状です。この状況ではどうしても高校生中心の練習になってしまうので、中学生にももっと練習できるようにするために高Ⅱを中心にして日々のメニューの見直しをはかっています。また大学生のOBに来ていただき、アドバイスを受けて効率的な方法を探しています。試合で良い成績を残すことももちろん大事ですが、先輩・後輩との関係も大事にし共に楽しみながら強いきずなを作っていきたいと思っております。(部長 小澤 健嗣)

昭和四四年卒
日野旭堂(株)


日野 憲一

〒一一一〇〇五三
台東区浅草橋三一五一四
TEL 三八六一八九九五
(代)四

昭和四四年卒
ワイシー企画(株)

藁谷 豊

埼玉県所沢市緑町四一三七一一三
TEL 〇四二一九三三三三八一
FAX 〇四二一九三三三三九九



さんま会
生物部OB会

代表幹事 内海 賢治
(昭和46年卒)

毎年、3月末(さんま)の土曜日にさんま会を開催します。
奮ってご参加下さい!!

バレー部

バレーボールは19世紀末に誕生し、20世紀を経て百年余りの歴史を持ち、今日に至っております。我がバレー部も、故松枝正弘先生が設立され約半世紀が過ぎ、その間インターハイ出場などの輝かしい戦績や、各方面で活躍されている多くの諸先輩方を輩出して参りました。21世紀の活動目標としては、まず部活動を通じて、様々な場面で行動力を発揮できる生徒を育成していくことです。部活動を継続してやり遂げた生徒ほど、私が驚くような成果を挙げております。時代が変わろうとも、この現実は恐らく変わることはないでしょう。また、戦績においては関東大会出場を目指し、目標に向け努力する集団として、明治の存在を広くアピールしていきたいと思っています。21世紀という新しい時代に、良き伝統を受け継ぎ、「明治魂」を発揮し続ける部となれるよう、更に研鑽を積んでいきます。

(顧問 山中 禎一郎)

バスケット部

21世紀は、バスケット部の最大の目標である「部の活動を通して、将来りっぱな社会人となり、社会に貢献、活躍できる人物を育てる。」が現実として花開いていくかどうかの大切な世紀といえます。混沌とした今の世の中を立て直していける、たくましい明治魂を持ったバスケット部のOB諸氏が、社会の第一線で活躍してくれることを期待しています。大会の目標としては、20世紀末に2度、関東大会に出場することができましたので、21世紀の目標は「2度目のインターハイ出場」です。スポーツ推薦で能力の高い選手を集めている学校に勝つのは至難のことです。しかし、能力は劣ったとしても、部員全員が一つの目標に向かって一致団結し、日々地道に努力するバスケット部の伝統をしっかりと継承していけば、いつか必ずチャンスが来ると信じています。いつの日か「明治高校」の名を全国に鳴り響かせることができるよう、今後も益々努力していきたいと思ひます。

(顧問 前島 研二)

昭和四十七年卒
五木田・三浦法律事務所
弁護士 三浦雅生

〒一〇四一〇〇六一
中央区銀座五一一一五 第一御幸ビル六階
(受付四階)
TEL 〇三―三三三三
FAX 〇三―三五七五
〇三―三五七五
〇三―一〇一九二

明高庭球部OB会

会 長 荒井 重雄
(昭和28年卒)
TEL 03-3666-7527
連絡先幹事 鈴木 信夫
(昭和47年卒)
TEL 03-3886-5884

春のOB会ゴルフコンペは毎年6月第一日曜日に行うことになりました。秋のホッケー杯と共にふるって御参加下さい。

昭和四十九年卒
プラスチック精密成形部品
二光ライト株式会社
取締役社長 加藤 優
本社 〒179-0071 東京都練馬区旭町二一三二
TEL 〇三―三三三三
FAX 〇三―三三三三
ホームページ <http://www.nikolite.com/>

バドミントン部

毎春四月、東京都バドミントン部総会が開かれる。その席で、全国制覇七連勝中の常勝校、関東一高の顧問と会った。彼(渋谷実)は、わが明治高等学校バドミントン部のOBである。昭和56年、高校Ⅲ年在学中に国体出場を果たした、部のキャプテンだった。彼は今、次期アテネ・オリンピックの選手養成・強化の仕事もしているという。その彼の下で技術指導にあたっているコーチ(小林重徳)も、明治高等学校バドミントン部のOBである。彼は、昭和58年、高校Ⅲ年在学中にインターハイ出場を果たした、やはりクラブのキャプテンだった男だ。二人共に、天職を得たかのような活躍ぶりを、二人が監修し、出演しているバドミントンの指導ビデオで確認する事ができた。「明治の生徒と対戦できたら嬉しいし、何らかの形で指導もしたい。」と言ってくれた彼の心根に応えるよう、真摯に努力する姿勢、継続の大事さを、生徒に伝えていこうと思う。

(顧問 安部 友己)

陸上競技部

我が陸上競技部が創部してようやく8年目になります。創部当時は練習方法も解らず、大会に出てみれば入賞どころか長距離などは完走さえままならぬという悲しい状況でした。しかし、「継続は力」という言葉を信じ、生徒と共に練習を積み重ねていった結果、やがて都大会出場がかない、そしてそれが常となり、とうとう2年前に中学が全国大会に、そして高校が南関東大会に出場する運びとなりました。さらに今年は高校がすでに南関東大会への出場を決めており、かなりの高確率で熊本県で行われる全国総合体育大会(インターハイ)への出場を狙えるという喜ばしい事態になっております。今後の活動目標としては、この勢いをさらに増して、中学・高校ともに全国大会出場の常連校として、関東だけでなく全国に名を馳せる名門校となるべく頑張っていきたいと思っています。応援宜しくお願いいたします。

(顧問 上小牧 正広)

昭和三十九年卒
加藤一也税理士事務所

加藤一也

豊島区東鴨子三二五十八 第二層屋ビル
TEL 〇三―三三九一―〇八六八三
FAX 〇三―三三九一―〇八四四一

昭和四三年卒
(有)ホソヤ
代表取締役

細矢日出男

〒104-0042 東京都中央区入船二―三―六
TEL 〇三―三五五―〇七二五
FAX 〇三―三五五―〇七四八

祝 第37回総明会総会

猿楽会

昭和26年卒

会長 卯木敏夫

サッカー部

「サッカー部が出来る」平成8年3月に創設メンバーを会議室に集めて伝えた時、爆発的な喜びより、瞳の奥に強い意思を漂わせた静かな生徒の反応であった。人は、その喜びが深い時、表現さえできなくなるのであろう。日常生活でメンバーを支える座標上にサッカーのプレーをポイントする。真摯な練習姿勢を評価する。フェアプレーを大切にする。スポーツの持つ素晴らしいスピリッツの体得者をサッカー部から輩出させるのが我々指導者の目標である。中山正太郎監督、中山源治コーチの献身的なご指導により、創部4年目にして都大会出場を果たしその実力はベスト32である。国立競技場に、中山兄弟を立たせ、そのご指導に報いるのが、部員一同の夢である。強くて、マナーの良いフェアプレーを守る自製の効いたシブイ青年を育てたい。

(顧問 田中 徹太郎)

英語部

英語部は部員数10人足らずのこじんまりした部ですが、週に2日LL教室に集まり、活発に多くの言語活動に取り組んでいます。部員は、徐々に英語そのものに興味を持ち、実用的な英語をもっと学びたい、と入部してきた意欲あふれる中学上級生や高校生を中心に活動していますので、かわいらしい中学1年生を迎えることは最近ではあまりなくなりました。今後は、新入生でも楽しめるような活動内容を考えるのがテーマでもあります。普段の活動は、長年コーチをお願いしていますMr.Mackenzieに助言をいただきながら、身の回りのことや自分自身のことをテーマに、和やかな雰囲気の中で自然に英語のみで話をする環境を作り上げています。LL教室に入ったとたん英語で話が始まるのが普通になり、気後れすることなく英語で表現するという姿勢が徐々にについてきています。今後は、多少の部員の増加とともに、英語という言語のみでなく多くの異文化や考え方を学び、それを自分のことばで伝えられるような活動を充実させていきたいと考えております。

(顧問 矢田 理世)

明 治 会

昭和32年卒業
同期一同

昭和三十七年卒
「浅草・合羽橋道具街」
高村製罐株式会社
代表取締役 高村 光昭
〒一一一〇〇三六
東京都台東区松が谷三一八一〇
TEL 〇三―三八四一―〇一二七
FAX 〇三―三八四四―〇一二七

昭和三十七年卒
柚木法律事務所
弁護士 柚木 司
〒一〇一〇〇四一
千代田区神田須田町二―三二一 河合ビル八〇一
TEL 〇三―五二九四―六二九一
FAX 〇三―五二九四―六二九〇

物理部

物理部は普段、文化祭を目標に活動しています。文化祭ではできるだけお客さんの興味がありそうなもの、なおかつ物理と関係があるものを発表しなければなりません。しかし、物理部と聞くだけで実験など難しいことをするだけで、おもしろくない部だと思われてくれない人が多いことも事実です。そういう物理部のイメージを払拭し楽しい活動内容を理解してもらうのも目標の一つとしています。部員は本当につくりたいものを、自分で企画して、自分で作ることができます。そしてその一年間を通して行った活動を発表する場所が文化祭なのです。文化祭で自分たちの作ったものを説明して、お客さんに喜んでもらったときは本当にうれしいものです。そしてすべてが終わったとき残るのは達成感や充実感です。去年に関して言えば、文化祭で展示部門賞をとったためより達成感や充実感が強いものでした。そしてそのすばらしい達成感や充実感を後輩たちにも伝えていき、21世紀は物理部をよりよいものにしていこうと思っています。

(副部長 岸 宏行)

化学部

化学部は、1998年から各論文大会(全国学芸科学コンクール、日本学生科学賞、サイエンスグランプリ等)に毎年応募し続け、また論文発表会(生徒理科研究発表会等)にも毎年応募し発表しています。そこで毎年高い評価を得させて頂いています。その中2000年度には、2名の部員の地道な研究が20世紀最後の年に高く評価され、第44回全国学芸科学コンクールにて内閣総理大臣賞を受賞しました。そこで21世紀も、地道な研究・努力を怠ることなく、地道な努力を重ね、日本学生科学賞など、まだ最高の評価を頂いていない各論文大会や総明会賞などで、毎年最高の評価を頂けるように日々努力していきたいと思っています。

(顧問 櫻井 清孝)

生物部

今年の生物部は部員数7名、全て中学生で構成されている。生物部は月1回のペースで出かけて行ったり、実験を活動としています。しかし文化部は運動部より人数が少なく、さらに文化部の

昭和五十年卒
吉武孝生税理士事務所
税理士 吉武孝生
〒121-0824 東京都足立区西伊興二一四二九
TEL 〇三—三八九九—二二六五
FAX 〇三—三八九九—四二九五

Partner's
パートナーズ総合事務所
司法書士 菅原 誠
行政書士 (昭和52年卒)
〒110-0015 東京都台東区東上野3-35-5
島海ビル9F
TEL 03-3835-8041
TEL 03-3835-8042
E-mail ZVC00312@nifty.ne.jp

寺村梱包株式会社
代表取締役 寺村 武二 (昭和二十六年卒)
取締役 寺村 一義 (昭和五十六年卒)
東京都文京区本郷二一九一
TEL 〇三—三八一一—六六八六
FAX 〇三—三八一一—六六八六

中では生物部に入る人が少なく、なかなか部員が増えません。そこで生物部は部員を獲得するためには、楽しい実験を増やしたり、実験の内容を理解することが第一と考えました。だから毎週1回は部員が全員集まって話し合うことにしました。これで生物部の今年の目標である「部員を2けたにする」が達成できればこの部の活性化につながると思います。次の目標は生物部として環境問題について調べたいと思います。これから2001年度は中学生だけしかいませんが頑張ろうと思っています。(部長 山川 一平)

マンドリン部

私達マンドリン部は感動を与える演奏を目指し、今まで励んでまいりました。全国大会でも最優秀賞に当る文部大臣賞を始め、数々の賞と高い評価を得てまいりました。1人でも多くの人に美しい音楽を聴いて頂き、感動を与えることは、おそらく永遠に変わることのない私達の目標です。しかし、新世紀を迎え、私達は新たな試みに挑んでいかなければなりません。それは簡単に言うと、社会奉仕的な活動を目指すということです。老人ホームの慰問、チャリティコンサートを始め、社会に少しでも貢献していきたい、そんな願いを私達は持っています。今までの経験を活かし、もっと開かれた形でより多くの人々に私達の音楽を楽しんでもらいたい。そして、そのことは21世紀の若き演奏家たちの精神的成長の上でもより意味のあるものになってくるのではないのでしょうか。(顧問 並木 啓)

写真部

明高中の写真部がいつごろ作られたかは定かではないが、戦後まもなく経ってからのことであろう。多分、昭和の30年代の後半あたりではないだろうか。一時期、写真ブームもあった。時代と共に、今やパソコンを通して、デジタル写真の到来である。このところ、写真部の部員は減少し、そのため活動も低迷の傾向にあるが、昨年暮れに、昔、写真部が暗室として使用していた1号館4階の暗室に戻ることができた。水回りもしっかりしているし、後ろの棚や引き出しも十分使える。ここを、拠点に写真部の復活を図りたい。白黒フ

昭和四三年卒
(株)千住鉄工所
小田島 保男
〒104-0042 足立区中央本町四二四一八
TEL 〇三—三八二四—〇二四一
FAX 〇三—三八四八—五五七九

花と鉢物のご用命ご相談を承ります。
株式会社 ポトマックガーデン
昭和四五年卒 **平田 幸彦**
〒107 港区赤坂四一七一六 赤坂ハイム
TEL 三五八九—〇六八七

昭和四九年卒
造園・植木リース等のご用命は
(株)東武園芸
代表取締役 **番場 克己**
本社 埼玉県越谷市谷中町二一〇五
TEL 〇四八九—六五一〇—一〇一五
FAX 〇四八九—六四一三—〇四六

今日もおいしく
丸美屋
おかげさまで創立50周年
麻婆豆腐の素発売30周年
丸美屋食品工業株式会社
東京都杉並区松庵一一五一—八
TEL 〇三—三三三三—一八一八

イルムの現像、引き伸ばしから焼き付け、生徒の個性、創造性を引き出す作品を作りたい。PCのデジタル写真より、手作りによる写真の喜びを味あわせたい。かつて、中学1年で入部し、その5年後にブラバンや、野球の応援風景を見事に撮影、現像し、4つ切りのパネルに引き伸ばし、コンテストの写真展で数々のトップを取った時代を復活させたいと願っている。

(顧問 岸 哲利)

書道部

年が明け我々書道部も気持ちを新たに新世紀を迎えた。そこで我々は今世紀のテーマを考えた。「世紀を書す」これが我々の掲げるテーマである。そもそも我々は「書道部」であって「書写部」ではない。与えられた手本をただキレイに写すのが書道だろうか？否。私は書道の真髄とは、紙という限られた空間の中でいかにして白と黒のバランスを美しく見せることができるかどうかだと思う。これは文字だけに限ったことではない。江戸時代の画家は墨と筆を用いて日本の自然を紙という空間の中に実にうまく表現した。しかし彼らの作品は自然を写真のように完全に再現していただろうか？そうではない。彼らは対象となる自然を彼らの中に取り込み分解し、その対象を白と黒で表現した時、最も美しくなるよう彼らの中で再び造り直したものを紙の上に描いたのである。我々もこのような偉大な先駆者たちを良き模範とし、書の秘める無限の可能性を信じ日々書に励む所存である。

(部長 竹中 隆太郎)

地理研究部

地理研究部は98年50周年を迎えることができました。また、今年、これまで地理研究部を支えてこられた2代目顧問の櫻井正美先生が定年退職され、まさに大きな転換を迎えようとしているのかもしれませんが、今回21世紀の地理研究部というテーマを戴いたのですが、普段生徒には先のことを考えて行動しなさいといいつつあまり先のことを考えていないもので、今回の宿題は大いなる難問です。生徒たちと何が出来るかを考えるとそれは1つだけです、初代顧問の矢口先生から続いている事なのかもしれませんが、一緒に行って考える事だけかもしれません。何をつくるわけでもなく、しいて言えば

昭和十七年卒
明中一七六

部長 芳郎

事務局 伊奈葉秀雄 安藤賢司

〒一六〇〇一三
荒川区西日暮里一―三五―七
TEL 〇三―三八九一―三五三七(伊奈葉)

昭和四四年卒

す吾六家
中
勉

緑 店
〒130-0021 東京都墨田区緑四一九一一

砂町店
〒136-0073
東京都江東区北砂四―二十一―二十六
TEL 〇三―三六四〇―三三四一

祝第三七回総明会総会

(有)正木屋

TEL 〇三—三二九一—八七九八

昭和三十年卒

腰痛堂タムラマ接骨院

式身長伸長術指導所

院長 田村 正彦

〒116-0012 荒川区東尾久八―二二―五
TEL・FAX 三八一〇〇八〇〇

行ってみて経験するだけの事だけです。でも、これって大切な事だと歴代の先生たちは思っていてやっていたようで、おそらく21世紀になって人は代っても地理研では変らぬものとして残り続けていくものなのかなと考えました。

(顧問 由井 将雄)

歴史研究部

21世紀最初の年である本年の、年間研究テーマは「坂本龍馬」です。明治維新の際に優れた識見で薩長同盟、大政奉還を実現した龍馬を、今見つめ直してみようと思います。その研究の中で、21世紀を生きる我々へのメッセージを見つける事ができるのではないか、というのが今年度のテーマ設定の理由です。今回は特に脱藩に的を絞って研究します。夏休みの夏季研修旅行では龍馬の故郷、高知や活躍の場、京都等を回りました。現地調査の成果は文化祭で存分に発表する予定です。歴史研究部OBの方々には紫紺祭の案内をご自宅に郵送させていただきますので、紫紺祭当日はぜひ、歴史研究部の展示まで足をお運び下さるようお願い致します。

(部長 津吹 祐輔)

コンピュータ部

幽霊部員。我がコンピュータ部では、この単語がよく使われる。いうまでもないが幽霊部員とは部活動に全く参加せず、籍だけ置いているという部員の事だ。数年前に比べるとその数は大分減ったが、少数ながらもまだ残っていることは事実である。これは部員のやる気が少し足りないからだ。それは何故か。コンピュータ部自体に明確な目標がないからだ。従って21世紀はコンピュータ部に目標を持たせなくてはならない。今まで通り、パソコンの基礎やプログラム・作品の製作だけではだめなのだ。このようなことはパソコンさえあれば家でもできる。コンピュータが好きなだけではもうダメなのだ。これからは周囲に流されて実行するだけではなく、何事も自分自身で行動できるようにならなければ、口約束だけの目標などはもういらない。自身で行動し、悔いの残らないようにする。これが21世紀の活動目標である。

(部長 浅野 翔太)

昭和三十四年卒
小坂法律事務所
弁護士
小坂 嘉幸
〒一〇〇〇〇五
台東区上野三七八 田沼第一ビル四階
TEL 〇三三三八三一 六〇三二
FAX 〇三三三八三一 六〇三七

昭和三十四年卒
すぎ焼き 割烹
神田明神下
石橋 義一
TEL 三二五一 三五八〇

昭和四十年卒
株式会社シヨーワコーポレーション
代表取締役
重田 衛
台東区上野七二一七
TEL 〇三三三八四五 七九〇八

昭和四十二年卒 軟式野球部OB
(株)イマムラ
代表取締役
今村 健治
〒343-0831 埼玉県越谷市伊原一 二二二
TEL 〇四八九 八八七 一七一

JRC

2002年より始まる新学習指導要領の最大の特徴は、「総合的な学習」といって、奉仕活動や福祉、国際理解、情報などを新しいテーマとして学習に盛り込もうとしております。情報はともかく、その他のテーマはおいては、これまで活動してきたJRCの活動精神とまったく変わることがありません。我々は、これまで青少年赤十字の東京都支部の中心的存在として活動して参りました。ラオスへの研修には二人も同時に選ばれ、同行の方々からも高い評価を得ました。これからも、責任ある立場であることを自覚し、常に支部の生徒諸君をまとめ、前進していこうと考えております。また、最近では、赤十字活動にとどまらず、日本臓器移植支援の活動にも力を入れて参りました。それにより、故ジャンボ鶴田さんとの関係も生まれ、全日本プロレス、新日本プロレス、ノアなどのプロレス諸団体との臓器移植の支援協力もしております。参加生徒も非常に熱心で、他校の先生方にもかわいがられて、顧問としてもうれしい限りです。これからもよろしくご支援願います。(顧問 坂口 泰通)

地学部

平成10年、天文部から部名を変更し、新たなスタートをしました。部員は、天文・気象・地質の3分野に分かれ、各分野ごとに自己のテーマを決めて活動しています。年2回の合宿のほかに地層観察会を行い、野外での活動を心掛けています。文化祭では、各分野ごとに展示・発表をしますが、それ以外に、室内で鉱物採集を行うという体験コーナーを設置し、好評を博しました。これにより、文化祭で展示賞を受賞しています。新しい世紀の目標ですが、夢物語をお許しいただければ、天文分野では新彗星の発見、気象分野では気象予報士の誕生、地質分野では新鉱物・新種の化石発見を目指してみたいと考えます。これぞ、男のロマンと言うものでしょうか。また、現実可能なものとして2009年鹿児島地方の皆既日食観測をあげておきましょう。(顧問 則 茂雄)

囲碁部

我々囲碁部は一昨年から、1号館4階生物講義室を活動場所として活動を再開し、今年は中学生4名・高校生15名の総勢19名で活動しています。部員達の「強くなりたい」という前向きな気持ちが表われ、個々の実力もすこしずつではありますが確実に向上してきています。練習は、週2回を基本として練習対局を中心に行われています。高校生中心ではありますが初心者が多いため通常の十九子盤ではなく九子盤を使用している対局を多く行っています。幸いにも、昨年度より囲碁経験者が相次いで入部したため、白熱した対局を間近で観る事も出来る様になり部員達の士気も高まっています。また囲碁部では、今年から夏休みを利用し合宿での部内リーグ戦を計画しており、合宿に照準を合わせた練習が囲碁部の目標となっています。(部長 苗村 俊輔)

将棋部

21世紀という新たな世紀を迎え、我々将棋部一同としましては、各々の技術、知識を深め、日々懸命に切磋琢磨していきたくて思っております。勝つことは勿論のことながら楽しんで出来なくては意味がありません。そして、一つの楽しみ方だけでも少々物足りない感じもします。新しい楽しみ方を発見して、より将棋の深みを知って行きたいと思っているのであります。81マスのなかの40個の駒を動かす。このことがどれだけ楽しめることなのか。これを将棋部では追求したいと思っております。しかし我々は学生です。勉強をしなくてはいくら部活動に熱心になっていようと、ただの怠惰な人間です。「学業で優秀な成績を誇る将棋部。」そう呼ばれるような将棋部でありたいのです。これを21世紀の目標とさせていただきます。

(部長 二川 英治)

映画技術研究部

文化部の少人数化が問題になり始めてから何年になるだろうか。我が部も部員数減少で大きな痛手を受けてきた。それよりも、部員数の増減の波が激しいことの方が長年の問題でもある。ところが、日本経済に逆行するかのように、ここ数年は空前の活性期となり、自主映画制作と文化祭での上映等充実した成果を残し、内外に向けてのPR手法を考えるにまで躍進してきている。短期的栄華の様相でありながら、21世紀の目標などと鷹揚に構えるのは厚顔の至りではあるが、敢えて書かせていただくなら、「学生映画コンクール出展」、「学園物作品から脱却し、幅広い題材と配役での映画製作」、「IT化に伴う特殊撮影や編集技術習得」の3点であろう。生徒たちの映画構想はとてつもなく自由奔放である。顧問としては枠にはめられない彼らの発想をもっと伸張させ、実現に向けての努力と精進、そしてその先の感動を高校生活の思い出として深く刻ませてあげたい。

(顧問 関根 正人)

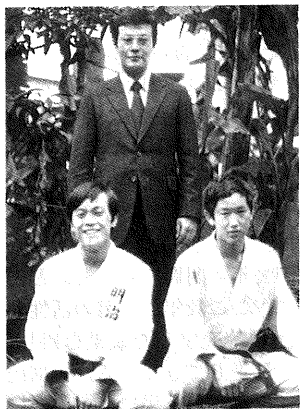
美術部

「好奇心を持つこと」絵を教えていて、将来伸びそうだと思うタイプに共通の特徴がある。一つは好奇心が強く、自分の殻を破り自己解放できる性格の生徒。もう一つは、大胆で怪我を恐れずチャレンジできる生徒である。大胆さこそ若い人にのみ許された特権で、出来た作品に一喜一憂し、果敢に創作に立ち向かう集中力こそが良い作品を生む条件だろう。身近な環境には美術館・博物館などにいい作品は多い。良い刺激を受けながら精神は自由に、表現は大胆に、今後とも創作を身を入れ頑張りたいと考えている。根気、持続性、集中力。やる時は徹底的にキャンパスに立ち向かい、自分をさらけ出す部員を一人でも多く増やしたいと思っている。

(顧問 須藤 正見)

小田島先生を偲んで 大野 正隆

平成12年11月21日、小田島先生が亡くなられた。先生は中学生徒指導主任、高校生徒指導主任、高校進路指導主任、中高総務主任、高校教務主任、高校教頭、中学教頭などを歴任され、本校の教育に大きな足跡を残されました。総明会会員一同、先生のご冥福を心からお祈りいたします。



柔道部 (49年卒 卒業アルバムより)

「ちょっと一緒に来ないか」、授業が終わって帰ろうとしていた時、小田島先生(当時は伊藤姓を名乗っておられました)から声をかけられて同行、混声合唱団の練習室に案内されました。室内はすでに歌声に充ちていました。えらいところに来てしまったな、内心びくつきながら小田島先生と列に並んで立ちました。確か、黒人霊歌の一つだと覚えています。私は4小節ほど口ずさんだところで歌うのをやめてしまいました。隣から朗々と

響いてくる小田島先生の歌声に圧倒されてしまったからです。まるで軀全体がラウド・スピーカーのようでした。今を去ること39年前、明治大学和泉校舎でのことです。当時は東海道新幹線は未だ無く、地下鉄は銀座線と丸の内線だけという時代でした。北国「岩手」からと南国「高知」からの若者が英米文学で席を同じくしたのです。そのご縁で混声合唱団にと誘ってくださったのが2人のそもそもの「出会い」でした。それから今日まで、こんなに長くお付き合い願うことになろうとは、ましてや、このようなお別れになろうとは、その頃は思いも寄りませんでした。折角の合唱団でしたが、先の小田島先生の「響き」が脳裡をよぎると気後れが先に立ち、足がそちらに向かいませんでした。後年、この「響き」は東北民謡「さんさ時雨」(私の結婚の際)を通して、再び耳にすることになります。大学を卒業された小田島先生はお互いに共通の友人達と真直ぐ大学院に進まれました。2年後に彼らの後を私は追いかけてみました。先生が大学院に入られた年のある日、院生仲間と私の下宿に来られたようです。生憎私は不在でお会いできませんでした。おそらく、悶々と青春の日を過ごしている私を気遣って押し掛けて来られたのでしょう。後に小田島先生から知らされたのですが、その折、部屋

にうまそうな干し柿(郷里の祖母の手作りのもの)が目に残り、一つ食べたいと思われたそうですが、仲間の一人(この友人もすでに他界されています)から駄目だと言われ、結局誰の口にも入らなかったようです。(皆で平らげれば良かったんだ!)小田島先生と私は同じ年に明治大学に入学しましたが、年齢は私より1歳上でした。しかしながら、実のところ、先生はこの年齢差以上に長じて見えました。柔道で鍛え上げた、その堂々たる体躯、そして落ち着きのある、礼儀に則った立居振舞に院生仲間は「兄」を感じていました。小田島先生はこの院生のときに、先の混声合唱団で共に活動しておられた淑子様とご結婚されました。ご結婚後も面倒見の良さはかわらず、ご自宅に仲間を招いて下さり、自慢の料理(先生は学生時代に板前をしておられたこともあります)を手ずから作ってくれました。申し添えますが、伊藤姓から小田島姓に変わられたのはご結婚以前のことです。母堂のご実家の名を継がれたようです。22年前から先生と職場を同じくして以来、2人で良く、授業で乾いた喉を潤しに(?)行きました。小田島先生の趣味・教養は多岐にわたっていらっしゃいましたので酒の肴には事欠きませんでした。(旅先で)熊と出会い、(車で)並んで走ったんだ、走りながら熊がこんな風に俺の顔を見るんだ、と“熊の走り”を身振り、手振りを交えて話されたときは本当に熊そっくりで大笑いしました。大体、話の八割は小田島先生で、残りの2割が私の応答でおしまいになる、というのが常でした。小田島先生は柔道3段の技量の持ち主でしたが、ただ強くなることのみをご指導の第一義とされていたわけではありません。先生は柔道の「道」を大切にされていました。言い換えれば、「礼節」を、ということでしょう。過去及び現在、先生に教えを受けた生徒はこの教えを胸に生きていってもらいたいと思います。先生はビールを前によく言っておられました。(本校の生徒を)いい男に育てたい、と。末筆ですが、ここに謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

合掌

この文は「過程」第49号に掲載されたものを、大野先生の許可を得て掲載させていただきました。



明治中学・高校生 活躍の軌跡

2000年度、現役生徒ならびに総明会会員の皆さんの活躍の軌跡をまとめた「明中高だより」が発行されました。これをもとに各種受賞者ならびに進学状況を紹介いたします。

■内閣総理大臣賞受賞

論文名「被子植物の光合成色素の数と分類に関する基礎的研究」

受賞者／斉藤 誠司・中野 慎太郎(中3)

全国学芸科学コンクールは科学や文芸等の16部門からなり、応募論文・作品10万点余りから最優秀賞に選ばれ、併せて科学技術振興財団会長賞も受賞している。

■1999年度 学部長奨励賞

法学部／奥野 照康・矢澤 謙一

文学部／平田 健

理工学部／菊地 隆史・古宇田大介

上記の諸君はいずれも98年の卒業生。今年度は過去最多の受賞者をだした。因みに昨年は3名。

■理工学部 神保賞

電子通信工学科／大野 光平(98年卒)

本賞は故神保成吉先生が残されたもので、対象は電気電子工学の基礎科目である基礎電気回路、基礎電気磁気学電気回路論及び電気磁気学の全科目の成績優秀者上位3名に贈られる。

■2000年度 卒業生

〔総代〕一部法学部／大門 誉幸(97年卒)

〔理工・学業成績優秀者賞〕工業化学科／渡邊 博士(97年卒)

■2000年度 岸本辰雄記念奨学金

商学部／第1種 須藤 宏泰(99年卒)

文学部／第1種 平田 健(98年卒)

本奨学金は「学業成績が特に優秀であり、かつ、時代を切り開く創造性豊かである」者に給付されている。平田君は学部長奨励賞も受賞している。

■公認会計士2次試験合格者

鈴木 守(96年卒・00年商学部卒)

邊田真一郎(96年卒・00年経営学部卒)

長崎 諭(97年卒・商学部4年生)

長崎君は、現役合格者に与えられる連合父母会教育振興賞も受賞している。

■2001年度 学部推薦等

①各学部への推薦入学数

法学部 43 (5)

商学部 52

政治経済学部 48 (3)

文学部 15 (1)

理工学部 35

農学部 12

経営学部 20

※()内は2部

③推薦辞退者の進学動向(延人数)

上智大学 2

東京理科大学 3

国際基督教大学 1

慶應義塾大学 1

早稲田大学 1

麻布大学 1

※2000年度推薦辞退者進学動向

東京大学 1

②併願合格者

筑波大学 1

第37回総明会 御寄付者一覽

金二十四万円

●翼明会

坂上 真啓(四九年)

金二十万円

●波の会

昭和四八年卒同期会

●翼明会

下田 敬一(四九年)

金十万円

●割烹中田屋

中田 貢弘(三七年)

●翼明会

石田 和夫(四九年)
岩田 俊一(四九年)
岩本 美彦(四九年)
川東 明彦(四九年)
小泉 昌彦(四九年)
小暮 進勇(四九年)
小林 信明(四九年)
醍醐 敦(四九年)
高津 晴正(四九年)
竹澤 啓(四九年)
谷田 文夫(四九年)
真田 弘(四九年)
吉田 正一(四九年)
坂卷 達也(四九年)
佐藤 眞弘(四九年)

金七万円

●翼明会

宮下 守正(四九年)

金五万五千円

●翼明会

川崎 眞澄(四九年)

金五万円

●明大野球部

別府 隆彦(一八年)

●翼明会

石原 正一(四九年)
加藤 衛(四九年)
川添 数(四九年)
高田 廣一(四九年)
須藤 英彰(四九年)

金三万円

●同期会の出席者から

男坂倶楽部有志(四四年)

金二万円

●元校長

中野 隆彰(恩師)

●お座敷天ぶら花長

本多 由明(三六年)

●上陽電設株式会社

阿部 正行(四十年)

●エーゼット株式会社

服部 洋一(四一年)

服部 雄二(四四年)

大導寺 和幸(四四年)

●肉のたじま

田島 実(四四年)

金一万円

●白駿会

金井 靖雄

●鶴見 祐策(二八年)

●春名 克俊(四九年)

鈴木 一博(四九年)

●熊木公認会計士事務所
熊木 貞夫(二八年)

●株式会社フジモト

藤本 芳徳(三十年)

●株式会社マルタファクトリー

宇田川 雄弘(三十年)

●日本指圧専門学校

浪越 和民(三二年)

●長野 敏樹(三二年)

●柏レイソル

小林 正三郎(三二年)

●小室 秀夫(三四年)

●岩本ビル

岩本 清(三六年)

●光陽繊維

土生 崇智(三七年)

●株式会社石井製作所

石井 嘉一郎(三七年)

●アルプス商事

浅古 峯男(三八年)

●キマチ機械工具株式会社

来海 秀侑(三八年)

●谷公認会計事務所

谷 慈義(三九年)

●加藤税理士事務所

加藤 一也(三九年)

●中條 和男(四十年)

- 株式会社箱守紙器
箱守 康 男(四十年)
- 株式会社アドバンス
大塚 清 和(四十年)
- 利田 晃 一(四十年)
- 株式会社島村商店
島村 頼 男(四十年)
- 明友会
菊地 博 道(四一年)
- 三好 浩 二(四一年)
- トーマツ監査法人
後藤 孝 男(四二年)
- 笹井 和 廣(四二年)
- 齋藤会計事務所
齋藤 昌 照(四三年)
- 寺田 規 行(四三年)
- 中村 正 容(四三年)
- 有限会社ホソヤ
細矢 日出男(四三年)
- 山七
福田 正 知(四四年)
- 株式会社栗田商店
栗田 茂(四四年)
- 丸赤フーズ有限会社
中村 正(四四年)
- 株式会社サンリツ
三上 嗣 治(四四年)
- 比留間 竹 郎(四五年)
- 株式会社リブランカムラ
中村 裕 次(四五年)
- 獅子の会会長
吉田 耕太郎(四五年)
- ワークス
星野 勲(四五年)
- 塙 直 樹(四六年)
- 伊達 忠 伸(四六年)
- 株式会社森八本舗
森 八 一(四六年)
- 魚清有限会社おかもと
岡本 力 三(四七年)
- 鈴木 信 夫(四七年)
- 廣野 宏 士(四七年)
- 株式会社ホイトマーズゴホレーション
小川 喜 淑(四八年)
- ホームイ
中沢 憲 行(四八年)
- 元PTA会長
出 沼 正
- 前総明会事務局長
服部 雄 二(四四年)

金五千元

昭和四十九年卒 翼明会寄付一覽

植松 植竹 稲毛 稲田 伊藤 石井 飯田 栗野 青木 儘田 松本 西本 高橋 桜井 小鶴 関本 木村 内村 須藤 小山 眞哉
正俊 弘彦 健一 夫也 幸夫 一修 明修 吾夫 孝勉 一誠 研一 文哉

中島 土橋 津野 土屋 谷口 高野 関野 瀬尾 白石 近藤 小村 喜多 鴨下 鎌田 加藤 加藤 恩田 大久保 大河原 海老沢 梅沢
明祐 純克 裕卓 俊智 高則 貴英 悦文 宗浩 晴二 豊

能勢 中沢 石鉢 渡辺 和田 吉田 山本 山本 山村 村山 村野 宮本 宮岡 増田 細沢 藤原 藤木 伴田 茨田 菲田 永野 中島
秀義 安利 敏嘉 明陽 雅智 孝健 新一 邦一 泰正 秀雄
明涉 治博 弘幸 泰和 雄雄 一誠 志弘 茂夫 正祐 朗男 雄雄 雄德

ありがとうございました。

次期幹事学年の抱負 明紫会 山崎 秀樹

男坂を上り、母校を振り返りながら旅立ってから27年がたちました。人生45年の中のわずか3年間という明治高校での時間が、いかに自分の中で大きな意味を持っていたかを知る此の頃です。そんな昭和50年卒の私達が、第38回総明会総会の幹事学年を担当することになりました。母校への感謝も込めて精一杯努めさせていただきますので、どうかよろしくお願いいたします。50年卒同期会は「明治」の「明」に紫紺の「紫」を用い「明紫会」と命名しました。先輩方の同期会でこの名前がまだ使われていないことに驚嘆しながら、シンプルで素晴らしいと自画自賛しながら、こんな単純明快なネーミングをした私達です。単純に「楽しい総会・懇親会」をめざし、とにかく出席者の皆様に明高時代をおおいに思い出していただき、「楽しかった」と感じていただけるような一日にしたいと思っております。明紫会一同、一丸となって準備を進めてまいります。何卒、諸先輩方、後輩の皆様のご後援をよろしくお願いいたします。

幹事学年より感謝を込めて

母校明治高校を卒業して早27年の月日が経ち、久しぶりに会う同期生の顔を思い出すのに四苦八苦する歳になりました。今度第37回総明会の幹事学年、実行委員長という大任を引き受けてしまい「早まった」「しまった」という思いが頭の中をかすめました。が、我々49年卒翼明会の会合を重ねるうちに、昔の中学・高校時代の文化祭や体育祭の前日の「さあ、やるぞ!」という若き青春の日の思い出が甦えり46歳の血がたぎってきました。他の実行委員共々、今の気持ちは17歳です。約30歳も若返ってしまい、このことだけでも幹事学年になってよかったと感謝しております。総明会の役員の方々や大分年上の先輩方とお会いして話す機会がたくさんあり、先輩方の今までの努力があってこの総明会がずっと続いているのだと実感しました。私たちも素晴らしい先輩方を見習って、これからの人生に役立てて行きたいと思います。 (翼明会 竹澤 啓)



足を運んでみませんか

今年も、体育祭・文化祭、吹奏楽班・マンドリン部の定期演奏会、応援指導班出演の六旗の集いがそれぞれ開催されます。在校生が頑張っているようすを見に、是非足をお運び願います。

■高校体育祭

日 時／9月29日(土) つつじヶ丘グラウンド

■中学体育祭

日 時／9月30日(日) つつじヶ丘グラウンド

高校・中学分かれての体育祭になって9年、ブラスバンドの演奏や応援指導班による応援合戦は見られなくなったものの、実行委員の高校生・中学生の企画による競技・応援等、生徒の熱い汗の輝きをご覧ください。

■紫紺祭

日 時／11月3日(土・文化の日)・4日(日)

今年のテーマは「明治魂～男明治に惚れてみな～」です。このテーマには2つの狙いがあるそうです。1つ目は、紫紺祭で、明治の生徒ひとりひとりが成功への熱意を持つという事。2つめは、将来の明治を担う人達に、この“明治魂”を肌で感じてもらうこと。文化祭準備委員長の関根治朗君を中心に委員の生徒は寝食を忘れて、文化祭成功に向け活躍しています。

■吹奏楽班第43回定期演奏会

日 時／2002年1月27日(日) 13時30分開演

場 所／昭和女子大人見記念講堂

問合せ／顧問 鈴木 正人先生

■マンドリン部第43回定期演奏会

日 時／2002年2月10日(日) 13時30分開演

場 所／御茶ノ水「カザルスホール」

問合せ／顧問 並木 啓先生

どちらもコンクール・大会ですばらしい成績を残しています。美しい響きの中で楽しい一時をお過ごしください。

■六旗の集い

日 時／2002年1月13日(日) 13時開演(予定)

場 所／早稲田大学 大隈講堂(予定)

問合せ／顧問 山田 伸夫先生

六旗の集いとは、六大学付属高等学校応援団連盟の、年に1回の発表と交流の場です。伝統の応援歌を聞きながら昔を思い出してみませんか。

なお、10月13日は13時より中学学校説明会が行われます。ご子息の受験をお考えのOBの皆様、学校へおこしください。そして、説明会終了後は総明会総会へご参加をお待ちしております。

旧制明治中學校校歌

一章

帝都の真中駿河臺、

遙かに望む富士のねの

高き理想の影追ひて

集る健児勇ましや

三章

忠と孝との大糸を

色どる正義、愛、誠

我等が胸をかざるべき

大和綿の美ならずや

二章

學びの高嶺文の海、

峻しく荒き行末を

懼れず笑みて進みゆく

我等が意氣は天を呑む

四章

世界に王たる日の本の

國民の基と身をなして、

我等が校の名を掲けむ

我等が國の威を掲けむ

校歌

一、白雲なびく駿河台

眉秀でたる若人が

撞くや時代の暁の鐘

文化の潮みちびきて

遂げし維新の栄になふ

明治その名ぞ吾等が母校

明治その名ぞ吾等が母校

三、靈峰富士を仰ぎつつ

刻苦研鑽他念なき

我等に燃ゆる希望あり

いでや東亜の一角に

時代の夢を破るべく

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

二、權利自由の揺籃の

歴史は古く今もなほ

強き光に輝けり

独立自治の旗翳し

高き理想の道を行く

我等が健児の意氣をば知るや

我等が健児の意氣をば知るや

発行

明治大学付属明治高等学校同窓会

〒101-0064 千代田区猿樂町2-4-1

明治大学付属明治高等学校内

TEL (03) 3296-4555

発行人／専務理事 尾島育四郎

編集／翼明会(昭和49年卒業)